

2006 年度

大阪音楽大学音楽学部卒業生 アンケート集計報告書

(対象：1995、2000、2005 年度音楽学部卒業生)

謝 辞

大阪音楽大学音楽学部では昨年度の短期大学部に続き、本学を1995、2000、2005年度の3ヵ年度に卒業された約一千名の方を対象とした卒業生アンケートを行い、卒業生の視点から本学の教育目標が達成できているかどうかを回答していただきました。このアンケートから得られた、これら貴重なご意見を参考にさせていただきながら、教育改革、サービス向上など本学の今後の教育活動の発展に資するよう活用したいと考え、アンケート結果の概要をここに公開します。

回答期間が夏期休暇を含む時期でありましたが、多くの方から回答を得ることができました。回答いただきました卒業生の方々に御礼申し上げますとともに今後ともご協力をお願いいたします。

大阪音楽大学

2006年度 大阪音楽大学音楽学部卒業生アンケート実施状況

○実施期間

2006年7月25日（発送）から同年9月1日（必着）

○実施方法

1995年度、2000年度、2005年度の大阪音楽大学短期大学部卒業生（総数996名）のうち幸楽会名簿において住所不明と記載された方を除く計932名に対してアンケート用紙（B4表裏2面）を送付した。

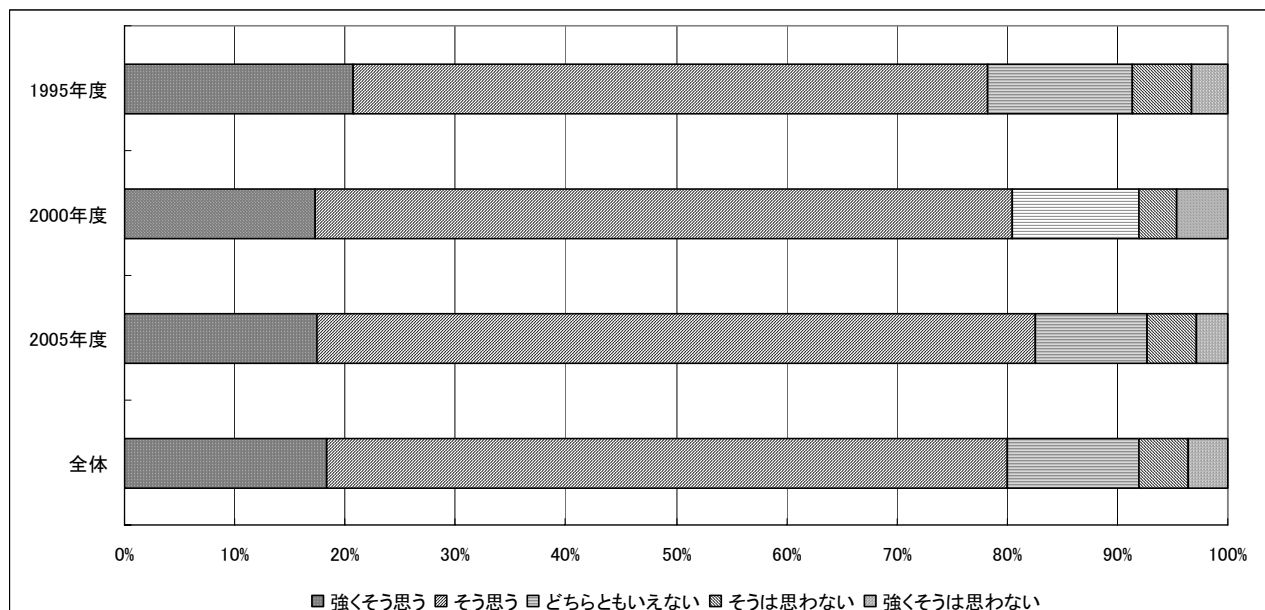
○配布および回収の状況

	卒業生数	発送分人数	回収数	回収率
1995年度	365	315	91	28.9%
2000年度	347	333	87	26.1%
2005年度	284	284	71	25.0%
無記入			5	
合計	996	932	254	27.3%

○集計結果の記載方法

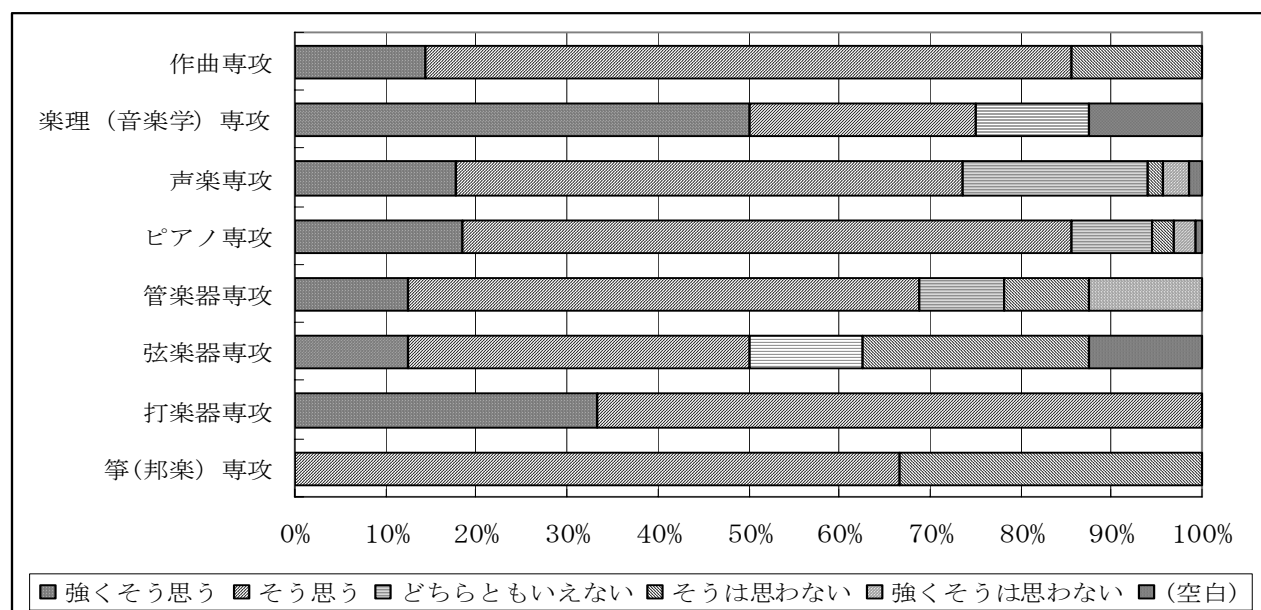
今回のアンケート集計では専攻別など対象となる数に著しい偏りがある場合を考慮し、実数による提示でなく、それぞれの項目について相対的な傾向を俯瞰できるように円グラフや横棒グラフを多く用いている。

I. 総合的満足度



本学に在学したことについての総合的な満足度では、約 80%が満足している（「強く思う」「そう思う」の合計）。これを点数化（5段階評価）し、平均を取ると 3.87（小数点第二位四捨五入）となる。

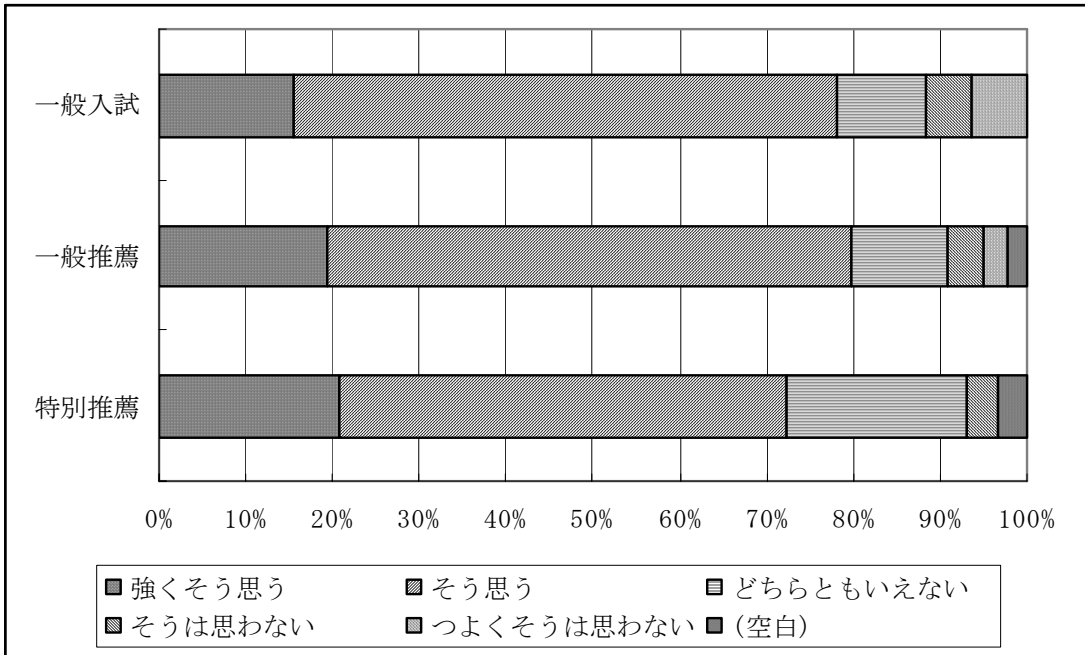
【専攻別に見た満足度】



これによると総じて満足度は高いが特に「打楽器専攻」「ピアノ専攻」「作曲専攻」の満足度が高くなっている。またこれを5段階に換算し、専攻毎にその得点を回答者数で割り平均化すると以下の表のようになる。全体平均を下回ったのは「声楽専攻」、「管楽器専攻」、「弦楽器専攻」「箏(邦楽)専攻」となった。ただし、専攻ごとの人数に著しい差があるため単純には比較できない面がある。

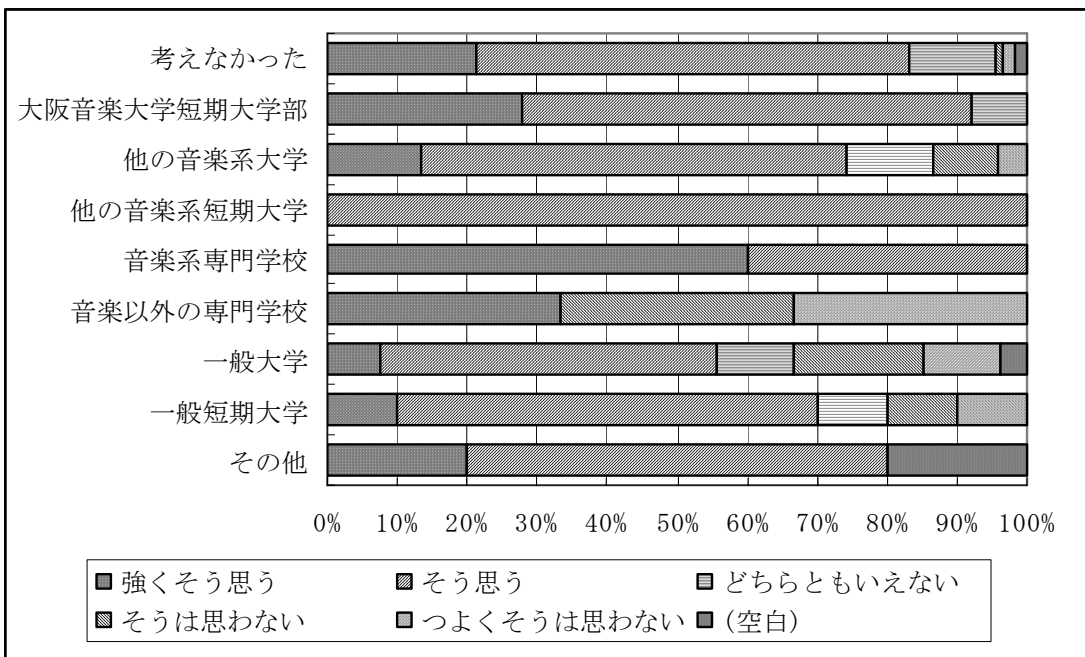
作曲専攻	音楽学(楽理)専攻	声楽専攻	ピアノ専攻	管楽器専攻	弦楽器専攻	打楽器専攻	箏(邦楽)専攻	全体
3.86	3.88	3.79	3.94	3.47	3.00	4.33	3.33	3.87

【入試制度別に見た満足度】



この結果では「特別推薦」で受験した人には「強くそうは思わない」とした層は無いものの、満足層（「強く思う」「そう思う」の合計）がもっとも少ない結果となっている。

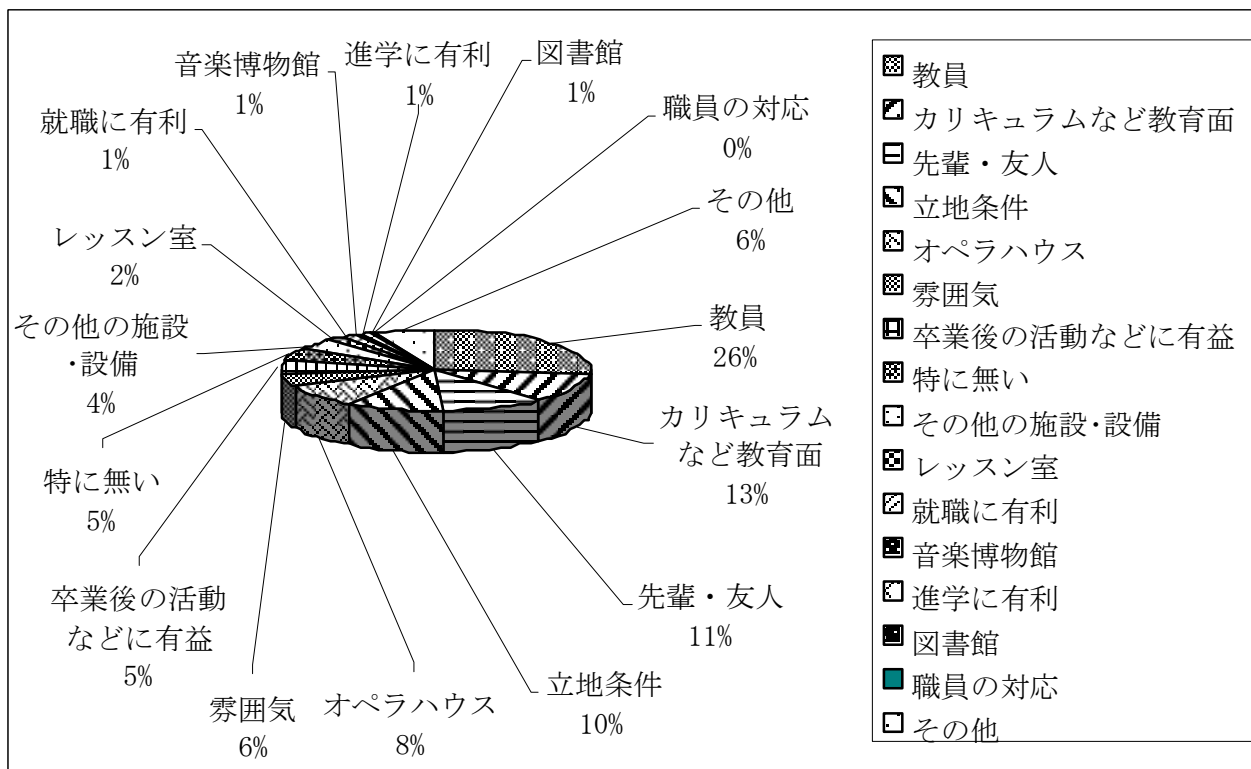
【入学時の志望先別満足度比較】



最も高い満足度を示したのは「音楽系専門学校」、逆に最も低いのが「音楽以外の専門学校」である。「他の音楽系大学」を考えていた人のうち 7 割強が満足していたが音楽系を志望した人の中ではもっとも低い値となっている。音楽系より音楽系以外、2年制より4年制を考えていた人のほうの満足度が下回った。

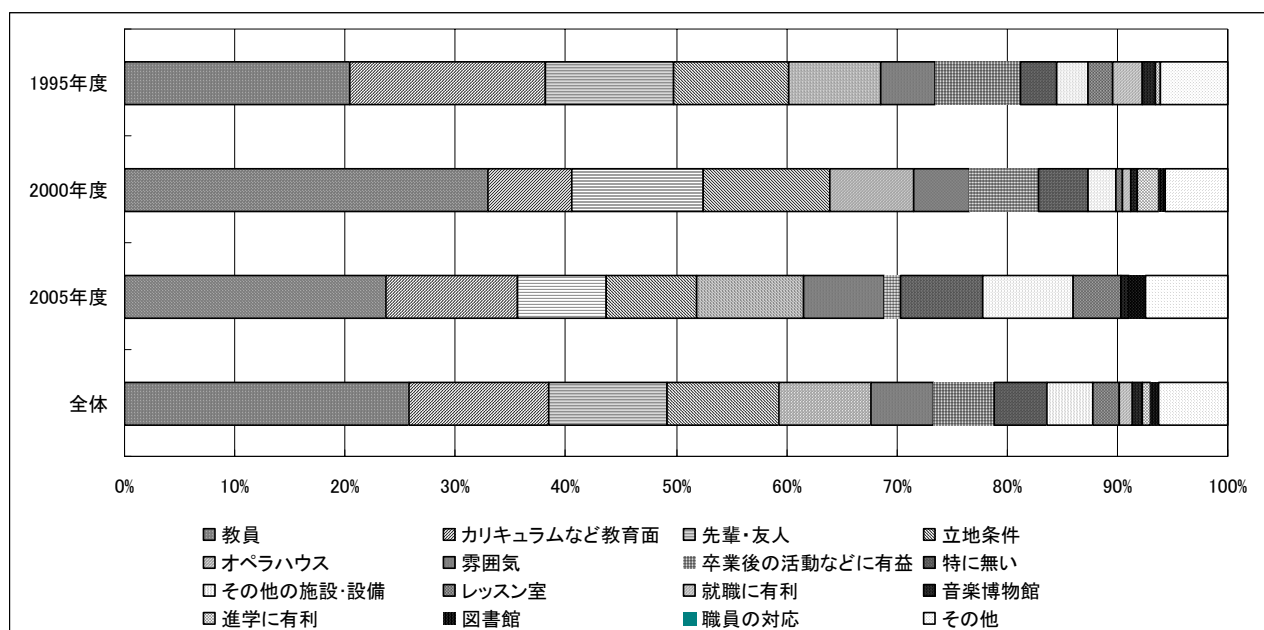
考え なかった	大阪音楽 大学短期 大学部	他の 音楽系 大学	他の 音楽系 短期大学	音楽系 専門学校	音楽以外 の 専門学校	一般大学	一般 短期大学	その他
4.02	4.20	3.70	4.00	4.60	2.67	3.23	3.50	4.25

II. 大学の選択理由



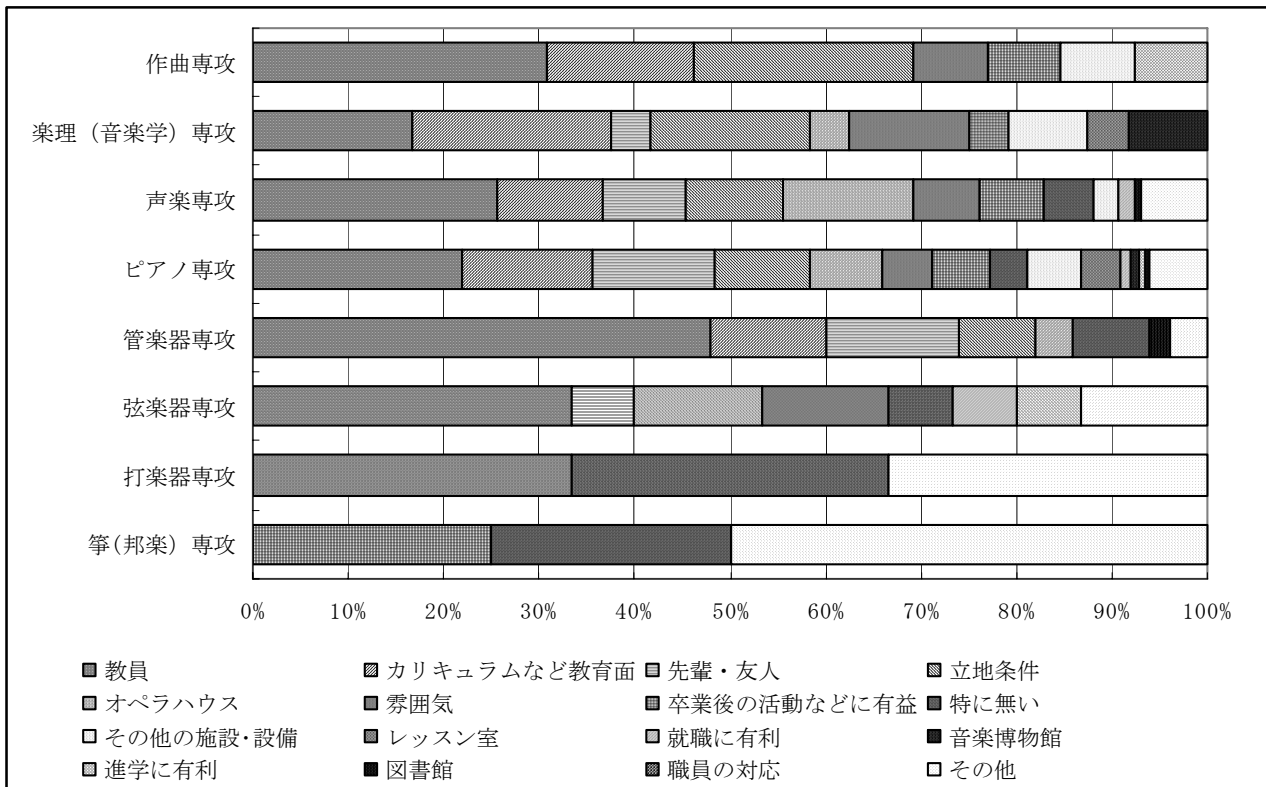
大学の選択理由中、最も多数の回答のあったものは対象となった3ヶ年度ともに「教員」であった。次いで「カリキュラムなど教育面」、「先輩・友人」「立地条件」となった。これを総合すると何らかの知名度による選択が多数を占めていると言えよう。

【年度別に見た選択理由】



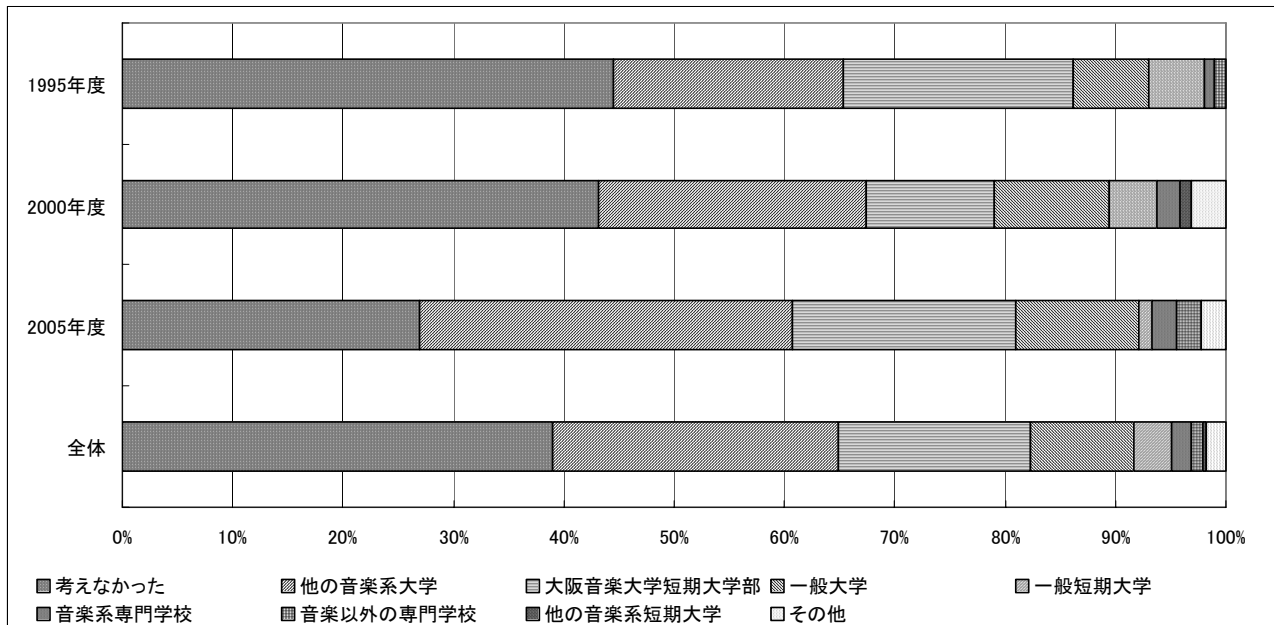
年度別に比較すると、「オペラハウス」、「その他の施設・設備」、「レッスン室」などが近年ほど増加している一方、「卒業後の活動に有益」としたものが減少傾向にある。「オペラハウスのある大学」として本学の特色と知名度は浸透しつつあると言えるが、卒業後に本学に対して期待することとしては教育の中身について充実を求める声が多いことから本学の教員や教育カリキュラムの一層の充実を図る事は勿論、受験生層に対して、これらの特色を積極的に発信することを検討していくことが必要であろう。

【専攻別に見た選択理由】



本学の選択理由を専攻別に見ると「教員」を上げた人が全体として最も多いが、中でも管楽器専攻が最も多く5割弱となっている。楽理（音楽学）では全体的な傾向と違い「カリキュラムなど教育面」とした人が最も多い。「邦楽」では卒業後の活動などに有利とした意見が25%を占めているのは興味深い。

Ⅲ. 入学時に考えていた進路

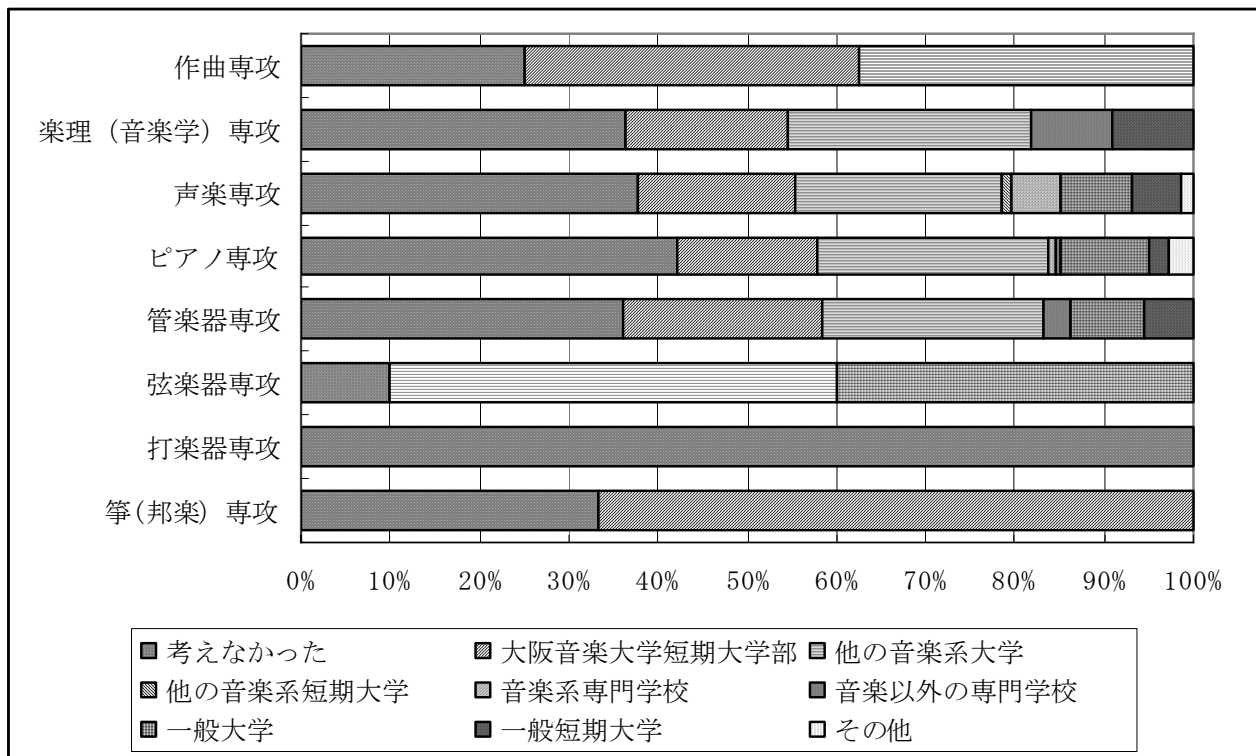


入学時に考えていた大阪音楽大学以外の進路について、3つの卒業年度全体では「考えなかった」、すなわち本学4年制専願が最も多く、次いで「他の音楽系大学」、「大阪音楽大学短期大学部」となった。2005年度卒業生を見ると「他の音楽系大学」が最も多くなっていることから他学との競合関係が強くなっていると考えられる。また、「一般短期大学」が減少し、「一般大学」が僅かながら増加している。大学・短大への志望分化の増大が見られる。

[その他としてあげられているもの]

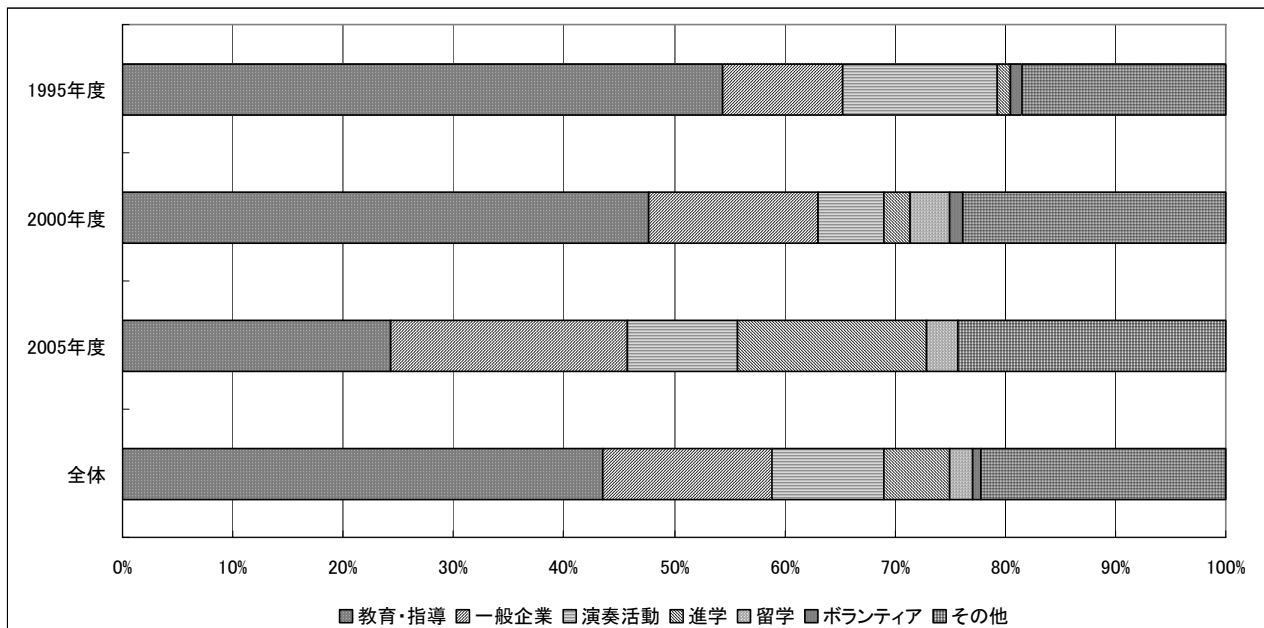
「留学」「美大」「国立大（教育音楽）」「音楽系教育大学」等

【専攻別に見た入学前の志望先】



設問6について専攻別に見ると弦楽器専攻は「他の音楽系大学」と「一般大学」の合計で9割を占める。これ以外の専攻では「考えなかった=専願」、「大阪音楽大学短期大学部」で5割以上となっている。弦楽器専攻においては他学と競合する部分が大きくなっており、他の専攻と比べ学生の確保が容易でないことを示していると考えられる。

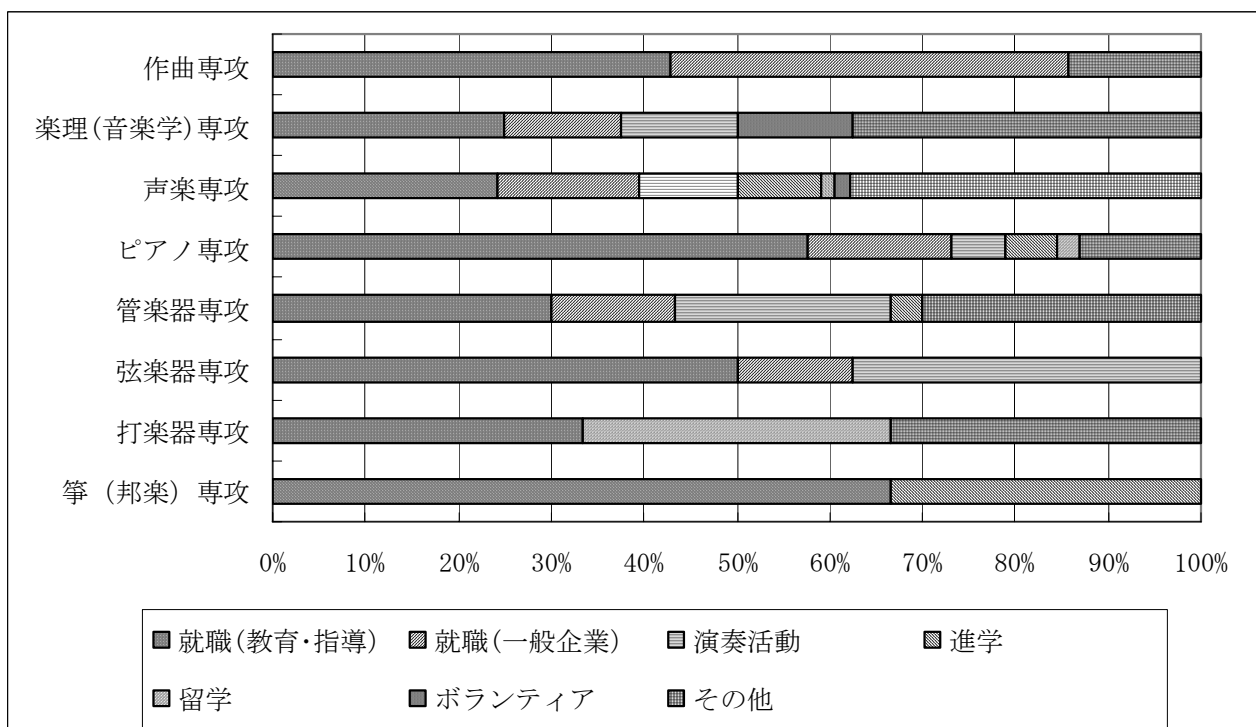
IV. 卒業後の活動



卒業後年数を経る毎に「教育・指導」「一般企業」「演奏活動」といった所謂就職や職業として指導、演奏するなど活動を行っている層が増えてくる。卒業後10年になるとほぼ8割の人が何らかの形で仕事（活動）していると言える。

〔その他として挙げられているもの〕

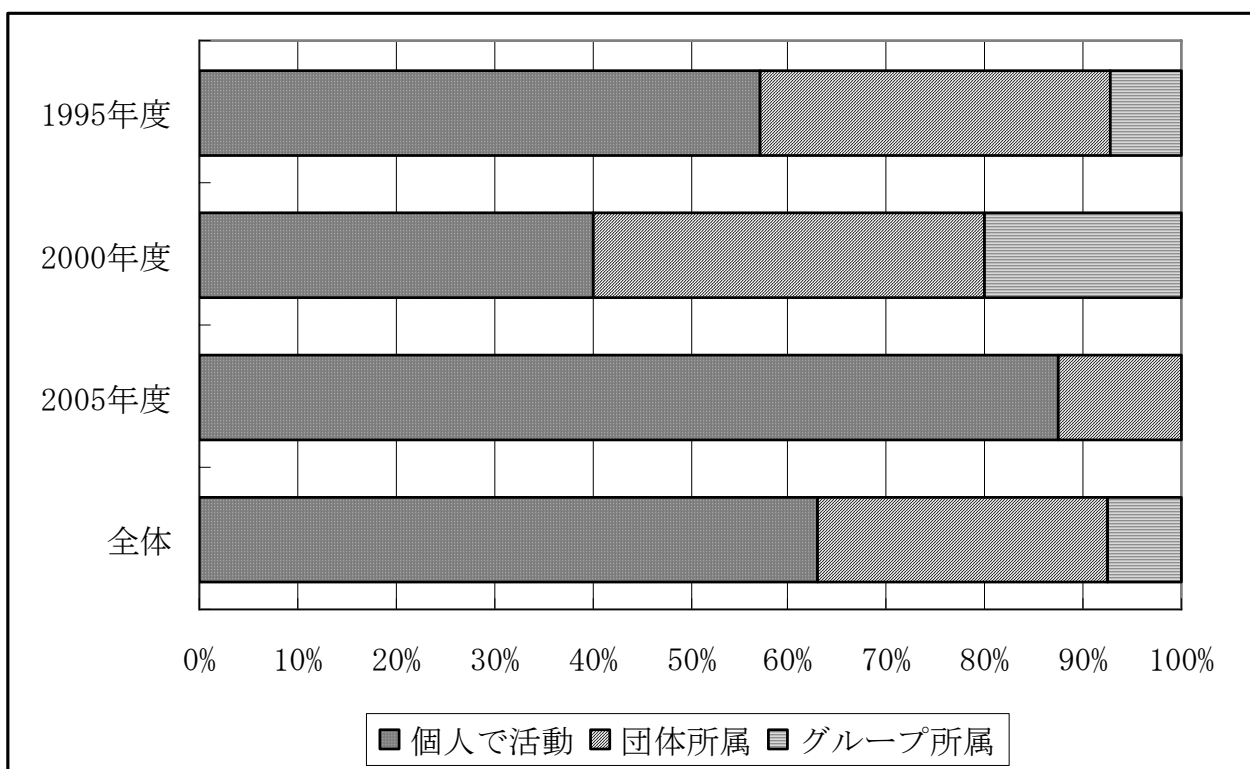
主婦 18件、アルバイト・フリーター 計10件、医療・介護関係 5件、無職 3件、オペラ演出部、楽器店勤務、関西二期会、教育・指導、教員採用試験受験浪人、公務員、作・編曲活動、進学準備中、病院、福祉関係、宝石関係、牧師など



【専攻別に見た卒業後の進路】

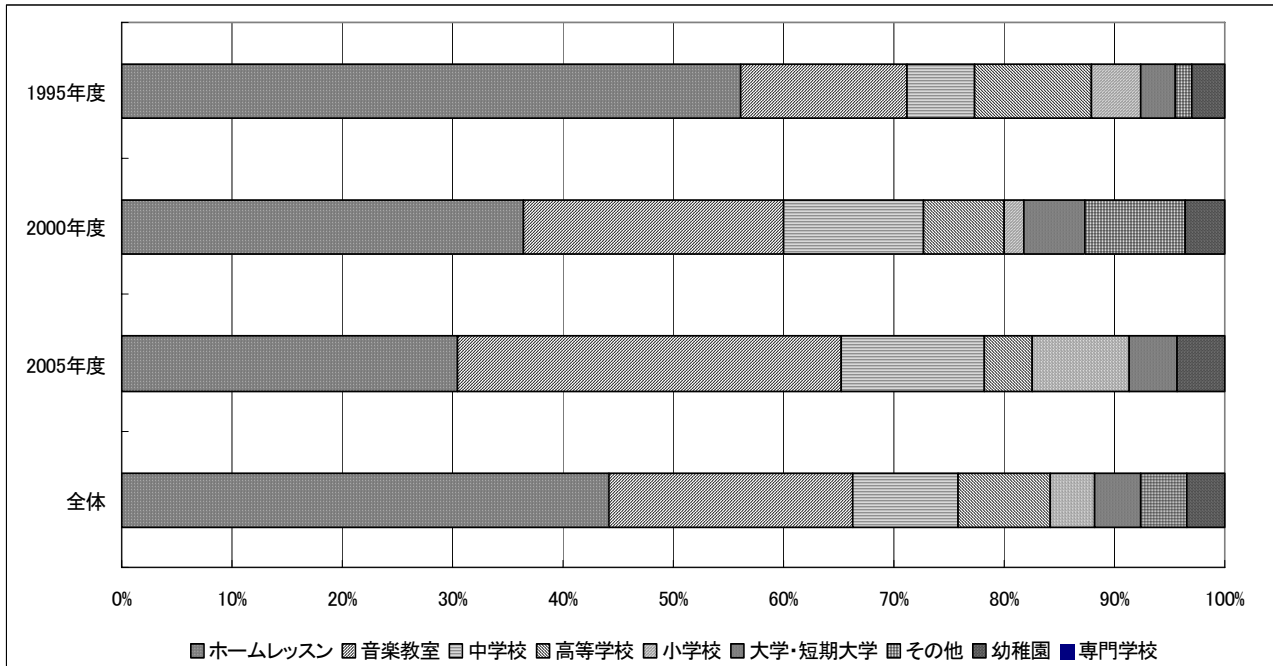
専攻別に見ると最も対象人数が多いピアノ専攻の6割弱が「教育・指導」を占めている（割合では邦楽）。比較的演奏活動が多いのは管楽器、弦楽器である。

V. 演奏活動の場



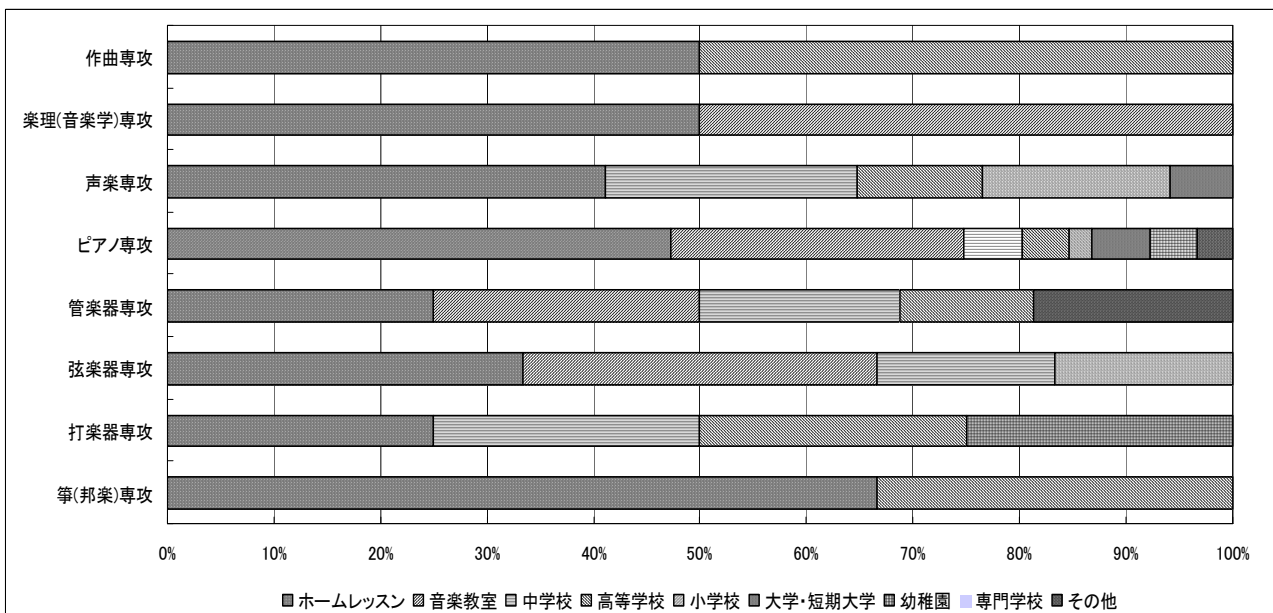
演奏活動を行っている人のうち6割強は個人的に活動している。特にこの傾向は卒業直後が最も強く、5年以上経ると団体に所属する割合が増える。卒業後さらに研鑽を積むことで演奏団体等へ所属出来るようになることは一般的な傾向であると思われるが、演奏団体等に所属し安定した活動を行う事は容易でないことを示していると言えよう。

VI. 教育・指導の場



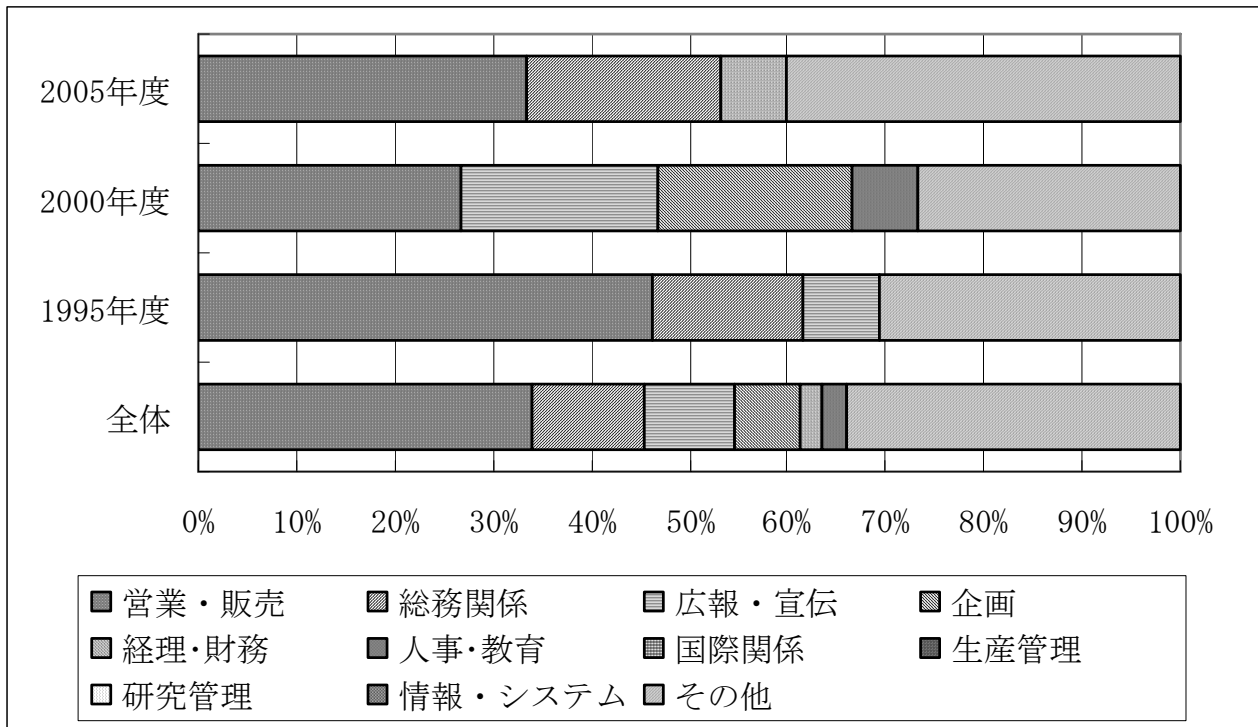
卒業後の進路として最も多い教育職の場では、「ホームレッスン」「音楽教室」の2つを合わせると7割弱を占める。これに卒業後の進路の調査結果とあわせてみると、本学の卒業生の3割弱がいわゆる町のレスナーであると言える。この中で卒業当初は「音楽教室」が多く、その後は「ホームレッスン」に移行する傾向がある。

【専攻別に見た教育・指導の場】



「教育・指導」のうち所謂レスナー層は音楽学、ピアノ、弦楽器に多く見られ、これらは自宅以外に音楽教室にも活動の場があることを示している。声楽専攻では、4割強がホームレッスンを行っているが音楽教室における教育は見られなかった。(※専攻ごとの人数に著しい差があるため大まかな傾向のみを見たい。)

VII. 現在就いている職種

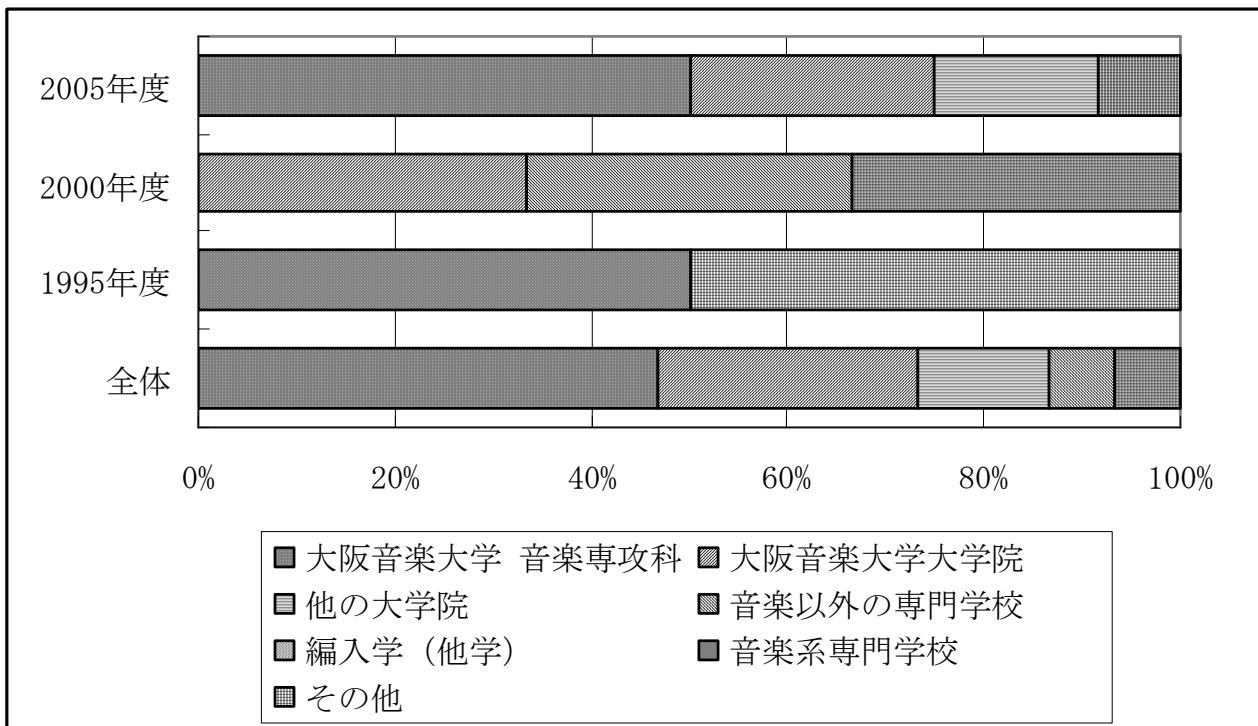


一般的な就職をした人の職種は上記のようになった。

[その他として挙げられているもの]

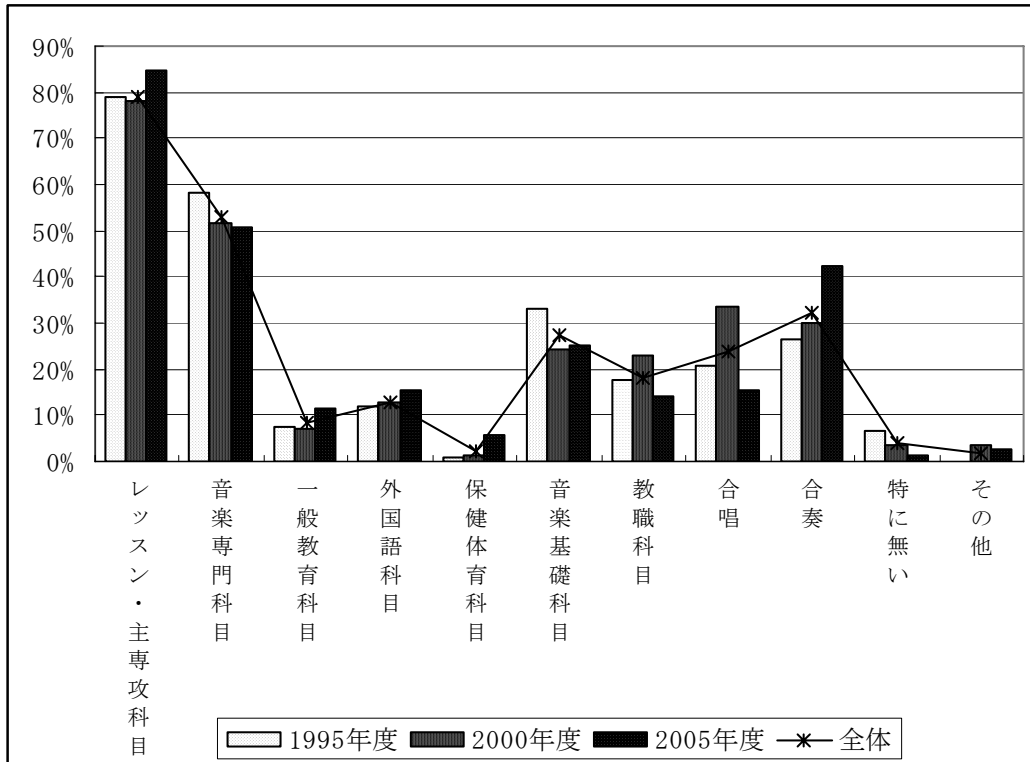
病院（医療）、作業、客室乗務員、派遣社員等。

VIII. 進学先



進学先としては今回のアンケートでは本学音楽専攻科が最も多く、次いで同大学院の順となった。

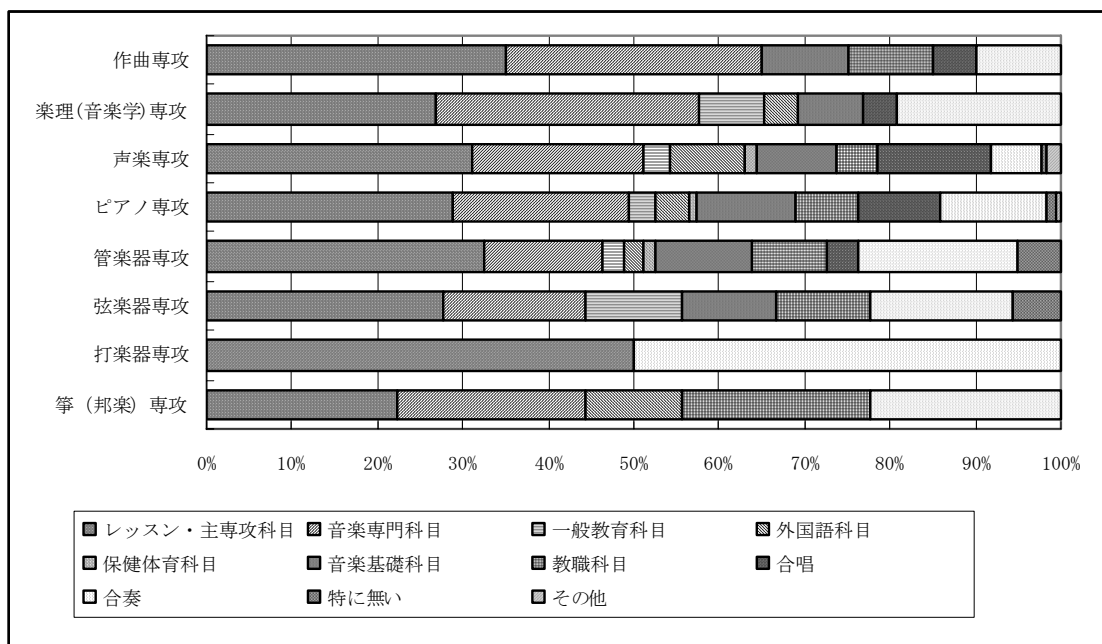
Ⅹ. 有意義科目



在学中に受講した科目について有意義と思うものを尋ねた設問では、「レッスン・主専攻科目」が最も多く、約80%を占めている。また、「音楽専門科目」は50%を超えている。

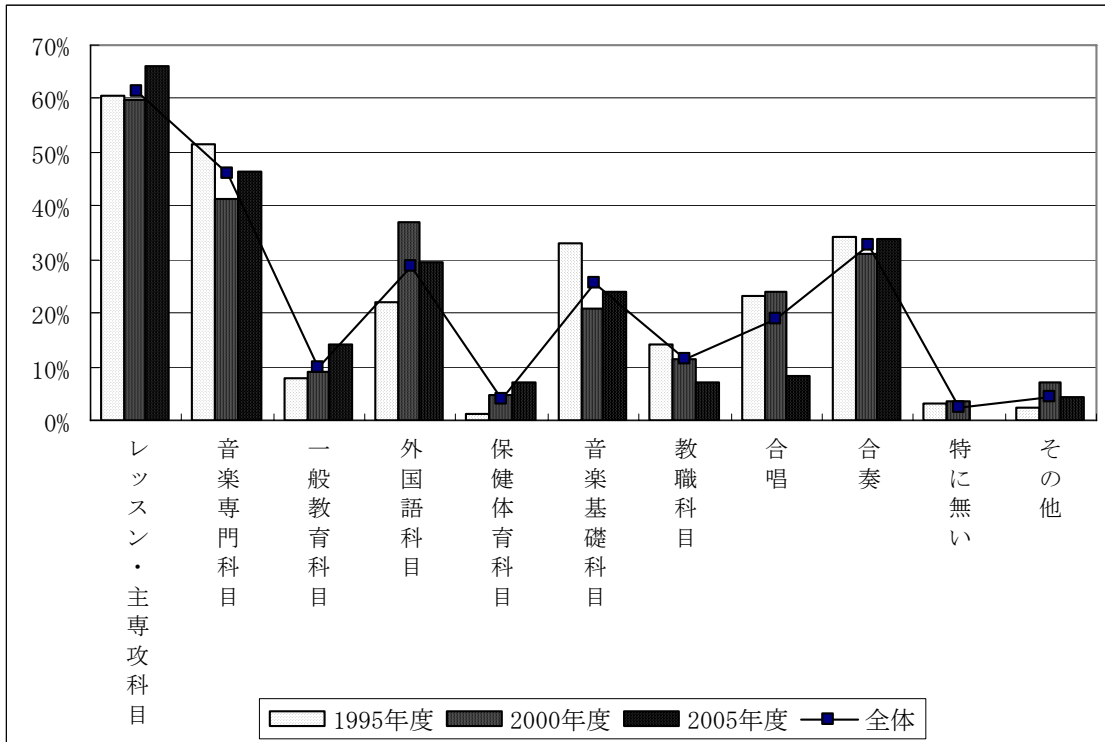
「一般教育科目」や「外国語科目」については有意義であったという回答が回答者全体の約10%程度に留まっている。

【専攻別に見た有意義科目】

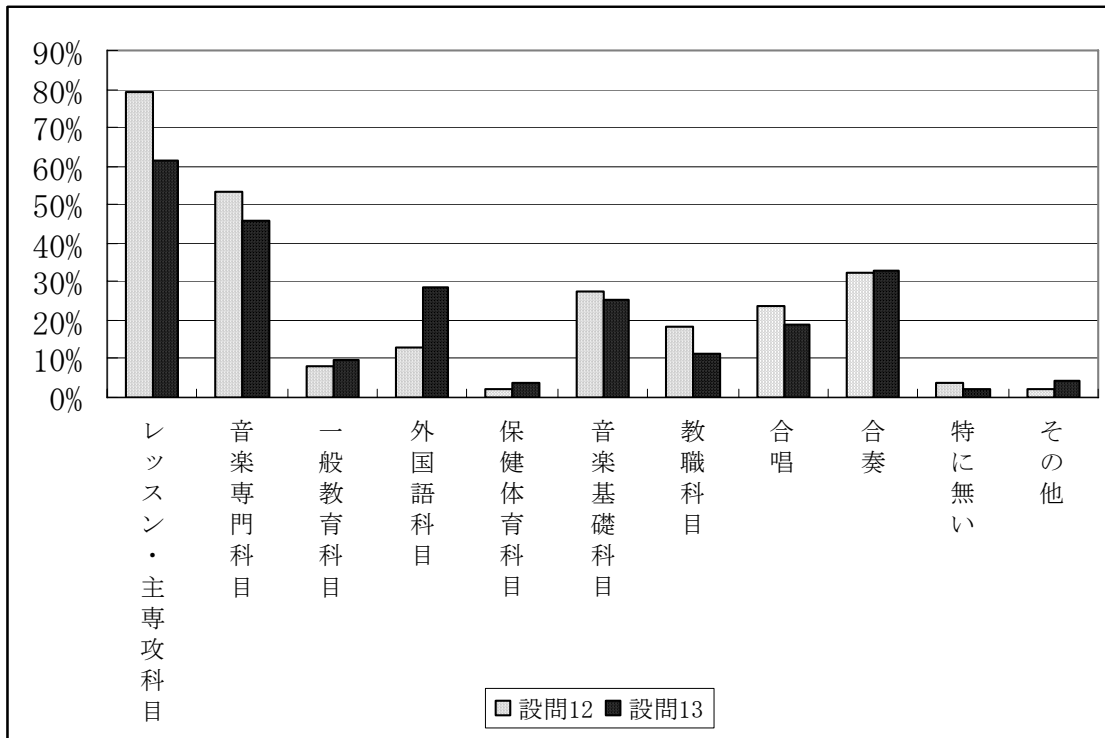


「合奏」は音楽学専攻、ピアノ専攻、管楽器専攻、弦楽器専攻、打楽器専攻、邦楽専攻で支持されているが、音楽学やピアノといった本来は合奏を行わない専攻においても多くの支持を得ている。

X. 現時点で再び学びたいと思う科目



卒業後の現時点で再び学びたい科目についてみると、大まかな傾向は入学時とほぼ変わらない。在学中（設問 12）と卒業後（設問 13）を比較すると「レッスン・主専攻科目」が 20% 下がり、「外国語」が 4 番目（設問 12 では 7 番目約 20% の上昇）に挙げられている。社会に出てからは大学時代の専門科目についても続けて学びたいがそれに加えて外国語や一般教育などの一般的教養にも意義を感じたあるいは必要性が出てきたということであろう。



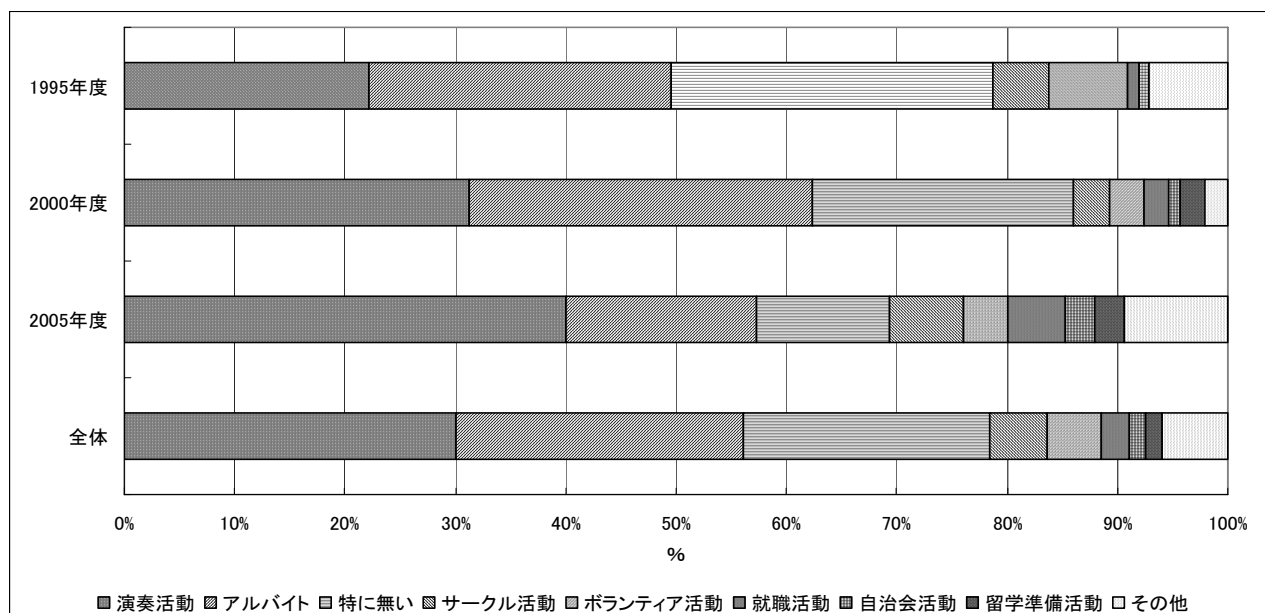
次項に具体的な変化を見るために回答実数を挙げた。

【設問 12 と設問 13 の比較】（専攻別、卒業年別）

専攻	科目名	設問 12. 有意義であった科目					設問 13. 再び学びたい科目				
		1995	2000	2005	空白	合計	1995	2000	2005	空白	総計
作曲	レッスン・主専攻科目	2	3	2		7		2	2		4
	音楽専門科目	2	3	1		6			2		2
	一般教育科目							1			1
	外国語科目							1	2		3
	保健体育科目										
	音楽基礎科目	1		1		2			1		1
	教職科目	2				2	1				1
	合唱		1			1		2			2
	合奏	1	1			2	1	2			3
	特に無い										
その他											
楽理（音楽学）	レッスン・主専攻科目	4	2	1		7	2	2	1		5
	音楽専門科目	4	3	1		8	2	2	1		5
	一般教育科目	1	1			2					
	外国語科目	1				1	2				2
	保健体育科目										
	音楽基礎科目	2				2	3	1	1		5
	教職科目						1				1
	合唱	1				1					
	合奏	3	1	1		5	2	1	1		4
	特に無い										
その他							1			1	
声楽	レッスン・主専攻科目	18	22	12		52	16	15	11		42
	音楽専門科目	17	9	8		34	14	9	7		30
	一般教育科目	1	1	3		5	3	2	4		9
	外国語科目	6	5	4		15	9	9	6		24
	保健体育科目		1	1		2	1	3	1		5
	音楽基礎科目	7	5	4		16	7	4	3		14
	教職科目	2	4	2		8	6	2	2		10
	合唱	7	12	3		22	8	6	1		15
	合奏	5	4	1		10	9	5	2		16
	特に無い	1				1	1				1
その他		3			3	1	2	1		4	
ピアノ	レッスン・主専攻科目	35	33	31	1	100	30	26	23	1	80
	音楽専門科目	22	27	21	2	72	24	19	17	1	61
	一般教育科目	4	3	3		10	4	5	4		13
	外国語科目	3	6	5		14	8	18	9		35
	保健体育科目	1		2		3		1	4		5
	音楽基礎科目	17	13	9	1	40	16	7	10		33
	教職科目	8	11	6	1	26	3	2	3	1	9
	合唱	8	16	8	1	33	11	11	5		27
	合奏	5	17	19	2	43	15	16	16		47
	特に無い	3		1		4	1	1			2
その他			2		2	1	3	2		6	

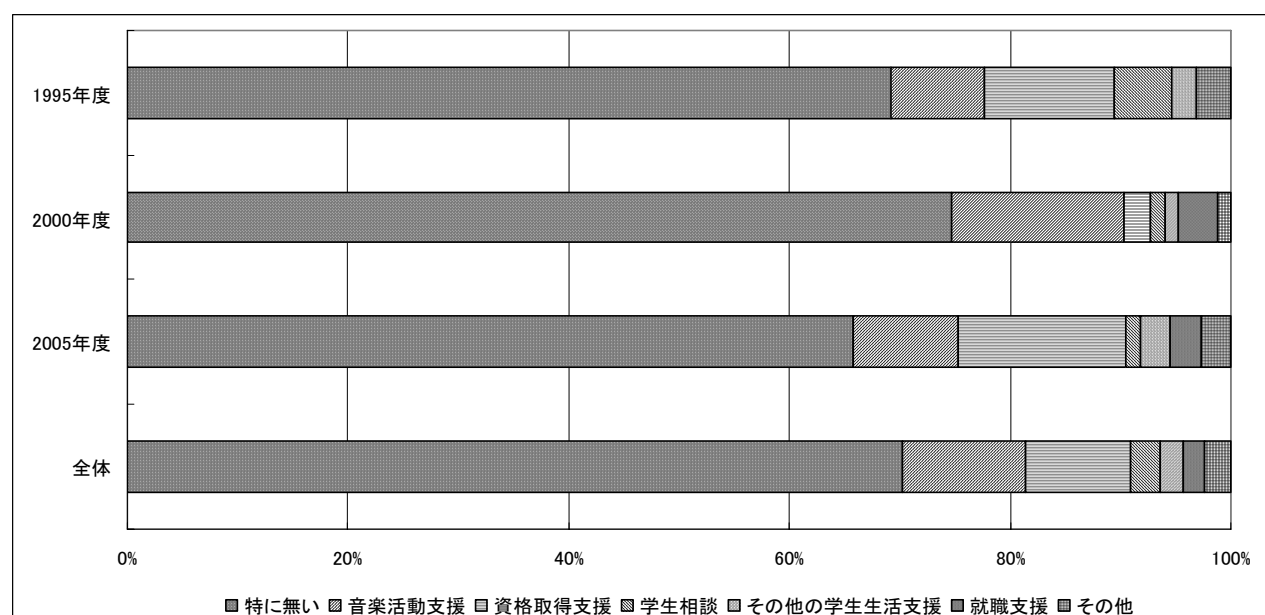
専攻	科目名	設問 12. 有意義であった科目					設問 13. 再び学びたい科目				
		1995	2000	2005	空白	合計	1995	2000	2005	空白	合計
管楽器	レッスン・主専攻科目	7	6	10	3	26	5	6	6	2	19
	音楽専門科目	3	3	3	2	11	5	5	3		13
	一般教育科目		1	1		2		1	1		2
	外国語科目	1		1		2	1	5	3		9
	保健体育科目			1		1					
	音楽基礎科目	3	3	2	1	9	4	5	1		10
	教職科目	1	5		1	7	2	6			8
	合唱	2			1	3	1	2			3
	合奏	5	2	6	2	15	3	3	3	1	10
	特に無い	1	3			4		2			2
	その他										
弦楽器	レッスン・主専攻科目	3		2		5	1		2		3
	音楽専門科目	2		1		3	3	1	1		5
	一般教育科目	1		1		2			1		1
	外国語科目								1		1
	保健体育科目										
	音楽基礎科目			2		2	1		1		2
	教職科目		1	1		2					
	合唱						1				1
	合奏	2		1		3	1		1		2
	特に無い	1				1	1				1
	その他										
打楽器	レッスン・主専攻科目		2	1		3		1	1		2
	音楽専門科目								1		1
	一般教育科目										
	外国語科目										
	保健体育科目										
	音楽基礎科目							1			1
	教職科目										
	合唱										
	合奏		2	1		3					
	特に無い										
	その他										
箏(邦楽)	レッスン・主専攻科目	1		1		2	1		1		2
	音楽専門科目	1		1		2			1		1
	一般教育科目										
	外国語科目			1		1					
	保健体育科目										
	音楽基礎科目										
	教職科目	1		1		2					
	合唱										
	合奏	1		1		2			1		1
	特に無い										
	その他										

XI. 在学中の授業以外の活動



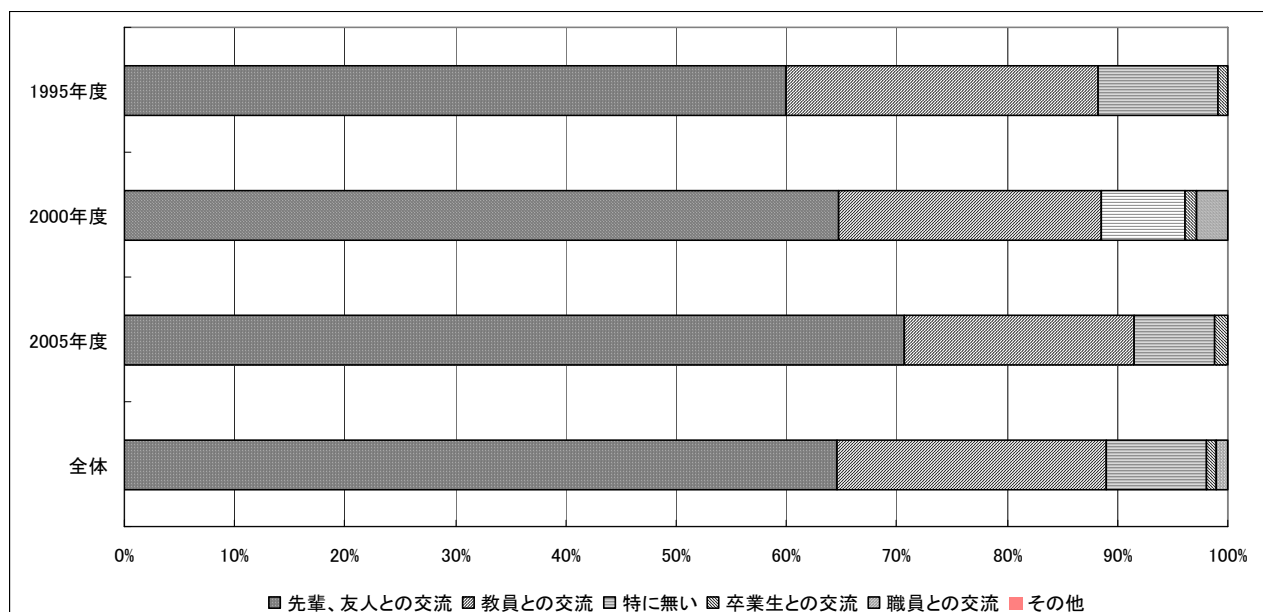
授業以外の活動としてもっとも多かったのは「演奏活動」で、1995年度から見ると約2倍の増加となっている。近年大学主催の演奏会が増えるなど学生が演奏会に出演する機会が増えていることがこの結果に繋がっていると言えるだろう。これに伴い、「特に無い」「アルバイト」とした回答が減っているのが特徴的と言える。また、わずかながら「就職活動」が増えている。

XII. 学生に対する各種支援のうち最も有意義であったもの



本学の学生支援については有用であったという回答は約2割にとどまり、特に有用なものが無かったとする回答が約7割であった。その中で2005年度卒業生からは資格取得支援が15%弱の支持を得ている。僅かではあるが近年本学において資格支援が整いつつある状況を反映しているとも言える。しかしながら他の設問においても支援の不十分さ、特に就職に関連する部分の不十分さを感じており、卒業後もさらに支援を求める意見が多くなっている。

XIII. 対人関係



「先輩や友人との交流」を挙げた回答が全体で 65%、2005 年度卒業生では 70%となっている。この傾向は本学内での学生同士の友好的な環境を表していると考えられ、これが増加傾向にあるのは歓迎されるべきである。しかしながら「教員との交流」が僅かに減少していることは看過できない。

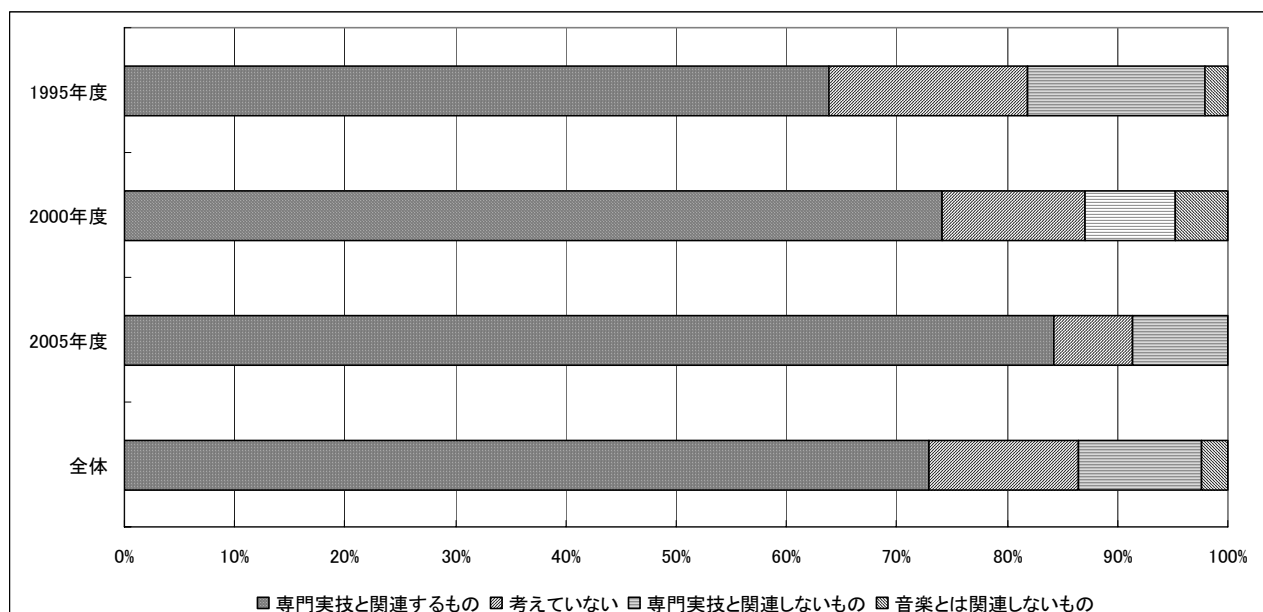
XIV. 在学中の授業や活動など印象に残っているもの（具体例は P34 参照）

具体的な例として挙げたものはレッスン、学内の演奏会（卒業演奏会、門下発表会、オーディションによるものや Tutti 等の自主的公演など）などのように専門分野におけるものが多く、合唱や専門以外の楽器による授業や発表会を挙げた卒業生が多い。

XV. 卒業後さらに学びたいと思うもの（具体例は P34 参照）

音楽療法や資格取得をはじめ音楽の幅広い知識や社会に出てからの活動に有用なスキルを身に付けることを求めた意見が多い。この他室内楽など複数者によるアンサンブルや合奏などの体験、専門以外のジャンルを経験するなどの意見があった。

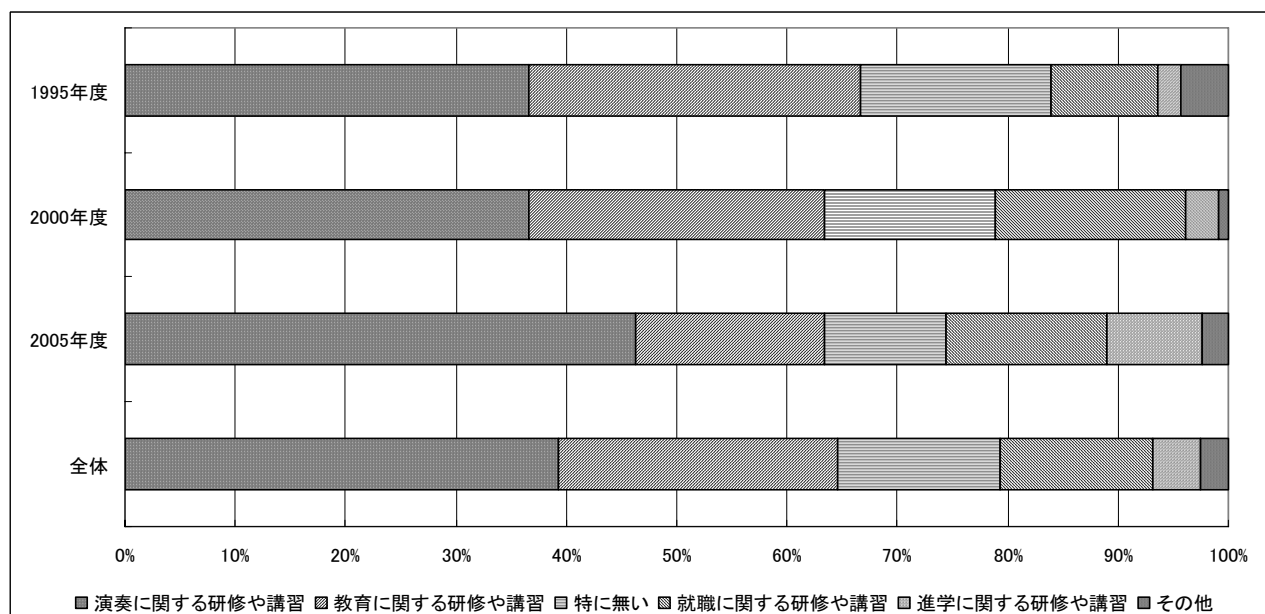
XVI. 将来の仕事、学習について



今後も音楽に関連する勉強を続けたり、仕事に就いたりする希望を持っているかを尋ねた問いでは、もっとも少ない1995年度（卒業後10年）においても、6割強が「専門実技に関するもの」に関連した活動・仕事を続けることあるいはそれらに就くことを望んでいる。機会があれば大学で学んだ「専門実技に関する」就職や活動を行いたいという思いは、やはり学生時代から近いほど強く、特に卒業直後の2005年度卒業生は8割以上を占めている。

具体例として挙げたのは「演奏活動」、「音楽療法」、「指導」に関するものが多い。この他に「子育てが終われば再開したい」とする意見などがあつた。

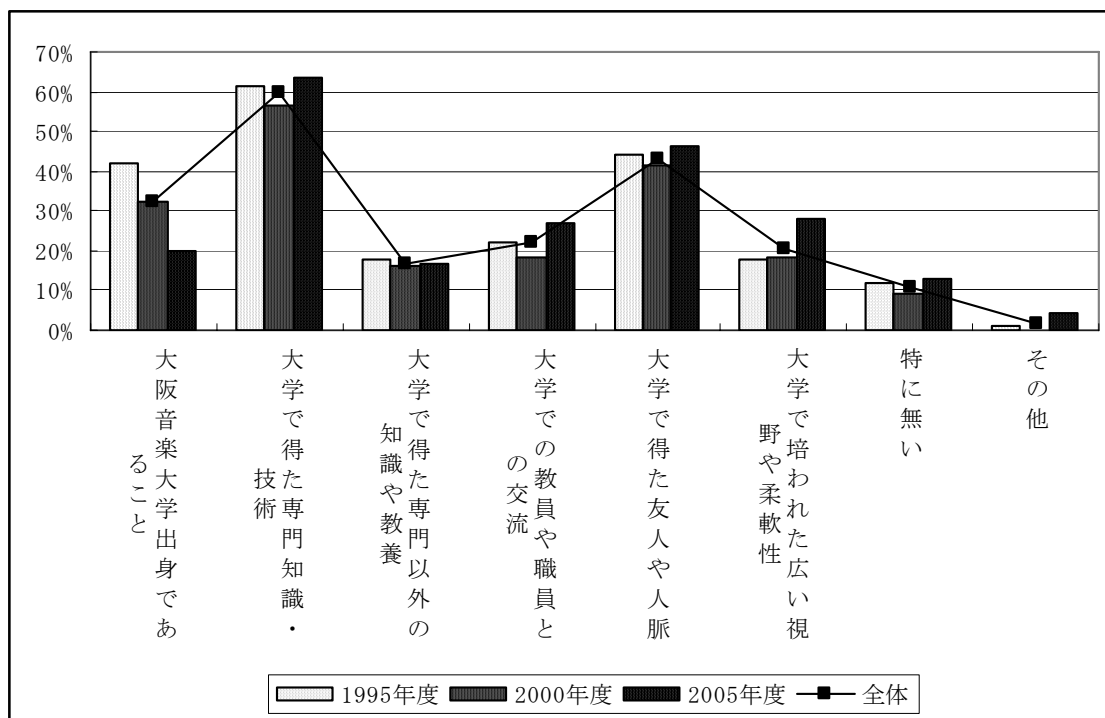
XVII. 設問19に関連して大阪音楽大学に希望するもの



卒業生がバックアップとして最も多く希望しているのは「演奏に関する研修や講習」、次いで「教育に関する研修や講習」となっている。この2つについては卒業後の経年に伴って徐々に「演奏」から「教育」に変遷して行く傾向にある。しかし全体の6割以上は専攻した音楽に関連して自己のスキルアップについて大学からのバックアップを希望していると言える。

【その他】「公演」「マネージメントについて」「K号館以外の練習室の貸し出し」「活動の広報」「教員募集や臨時教員の連絡」「募集の詳細」「演奏活動や留学に関する支援」など。

XⅧ. 大学での経験などで、現在の仕事（活動）に役立っているもの

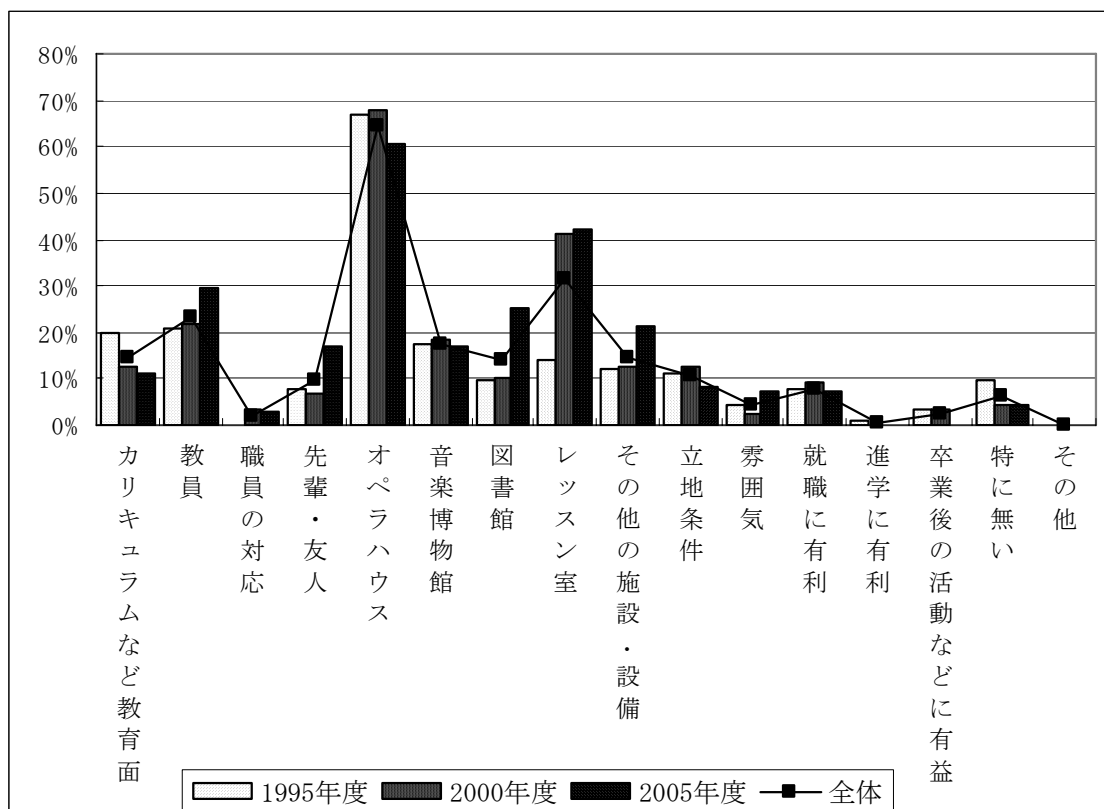


在学中の経験などで現在の仕事や活動に役立っているを尋ねた問いでは「大学で得た専門知識・技術」がもっとも多く、これは設問 12 で回答のあった有意義科目の「レッスン・主専攻科目」がもっとも高いポイントを上げていることが一致した傾向である。また、2 番目に多かった「大学で得た友人や人脈」は設問 16 の対人関係でも最も有意義であったとされている。全体では 3 番目に多い「大阪音楽大学出身であること」は年度を追う毎に減少する傾向がある。

[その他として挙げられているもの]

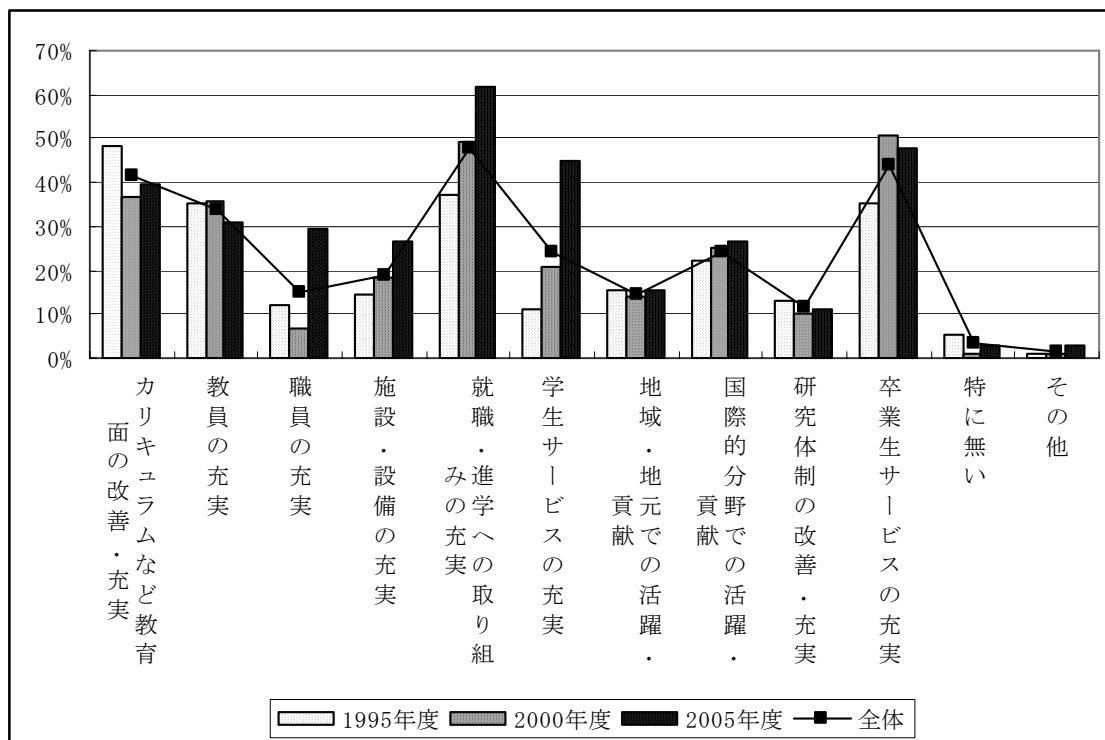
「自分の子供にピアノを弾いてやれる」「今はまだ使えていないがいずれ使う」「度胸」など。

XX. 現在の大阪音楽大学についての印象



卒業生から見た現在の大阪音楽大学の印象として、最も多く挙げられているのは「オペラハウス」であった。優れた施設としての面だけでなくその活動が認められているものと考えられる。次いで「レッスン室」、「教員」、「音楽博物館」となっている。「オペラハウス」や「音楽博物館」を有し、ほぼ全ての教室にピアノを設置し多くのレッスン室や練習室を備えていることなどが高く評価されていると考えられる。その反面「カリキュラム」や「就職に有利」「卒業後の活動などに有利」は相対的に低い傾向にある。

XX. 卒業生として本学に期待すること。



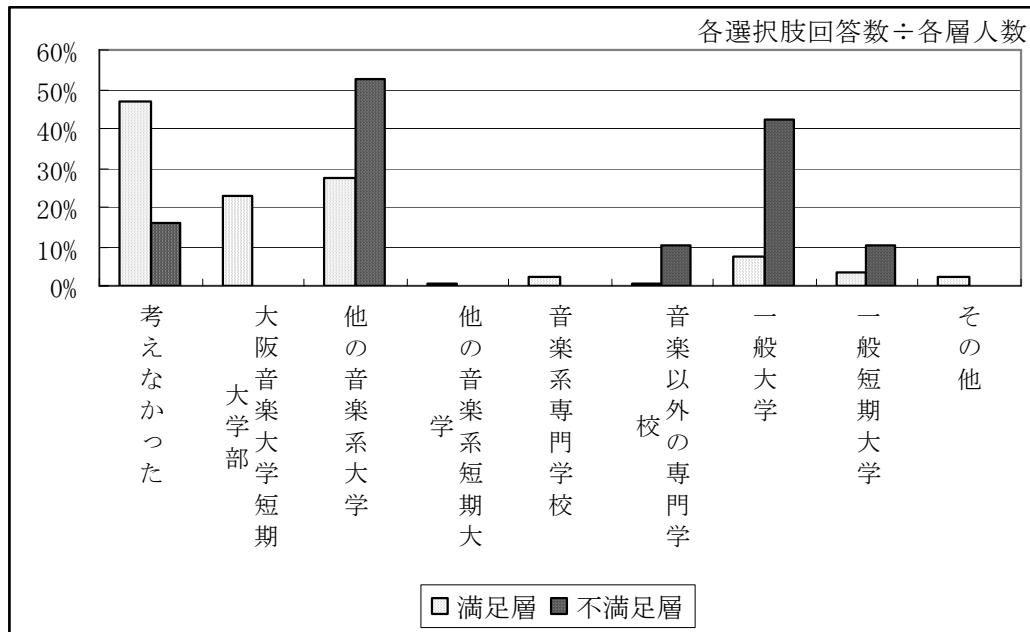
本学に対する期待は全体的には「就職・進学への取り組みの充実」「卒業生サービスの充実」「カリキュラムなど教育面の改善・充実」がほぼ同じ割合で高くなっている。これに比べて「国際的分野での活躍・貢献」や「地域・地元での活躍・貢献」「研究体制の改善・充実」など大学に求められる社会的な活動に関しては卒業生の関心は現時点においてはそれほど高くないことが分かる。

XXI. 満足度の詳細

I で求めた「総合的満足度」についての回答を「満足層」（強くそう思う＋思う）と「不満足層」（そうは思わない＋強くそうは思わない）の2つに分け、それぞれの特徴を見た。

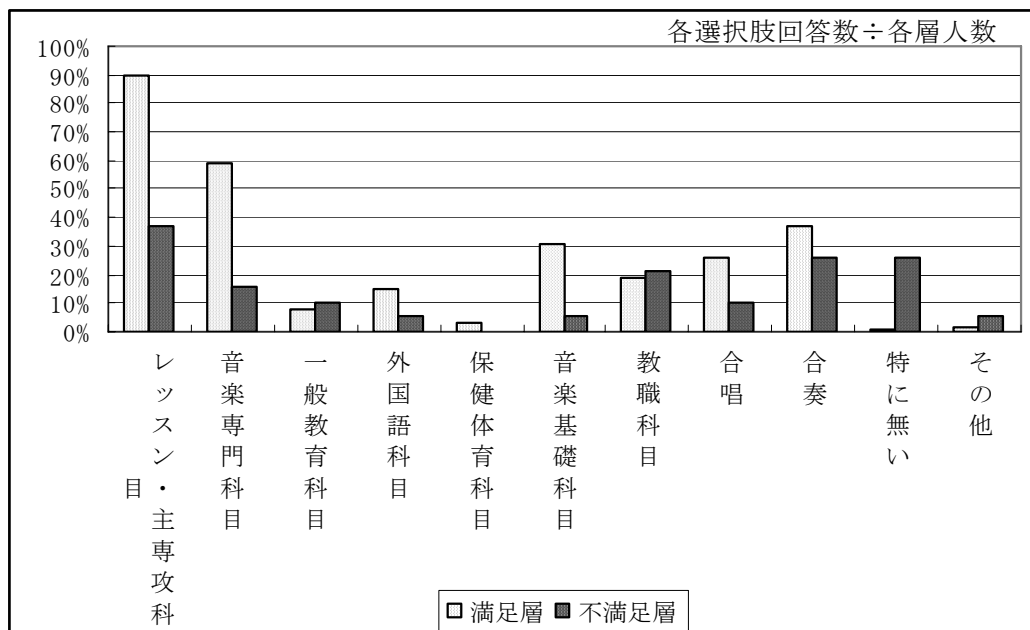
なお、各設問は複数選択可能であるため2つの層（満足層、不満足層）の中で、それぞれの選択肢の回答が占める割合をパーセントで表している。

【満足度から見た志望先】



志望先と満足度の関係を見ると、「他の音楽系大学」や「一般大学」を志望していた人は不満足層の中で多くを占めている。つまり本学以外の4年制大学への進学を考えていた人達の満足度が低いと言える。これに比べ短期大学を考えていた「大阪音楽大学短期大学部」「他の音楽系短期大学」を考えていた人は満足度が高く不満足という回答が無かった。

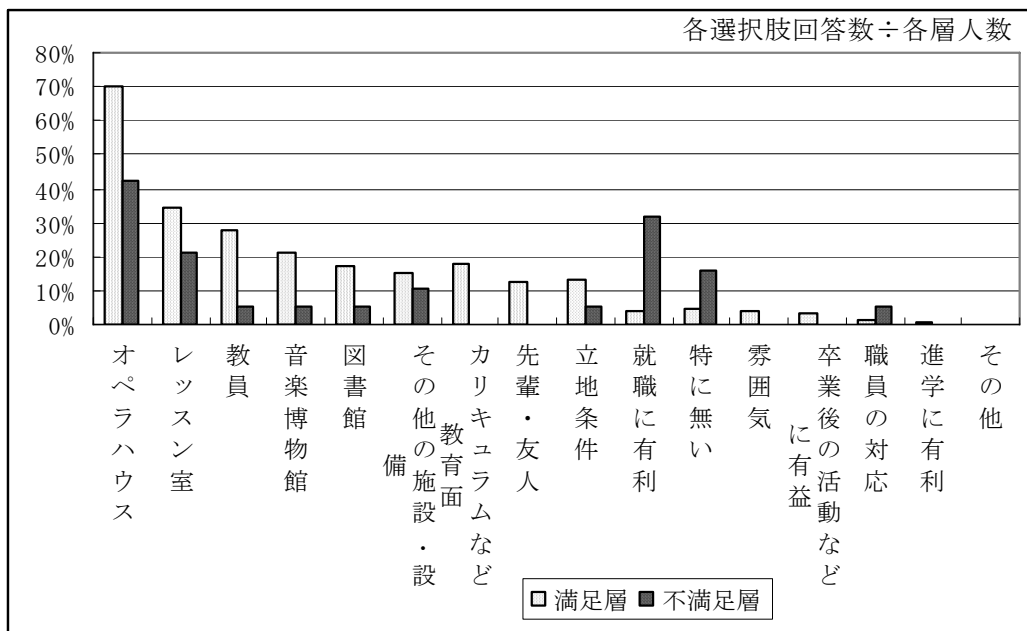
【満足度から見た有意義科目】



有意義であった科目について比較すると音楽系の科目「レッスン・主専攻科目」「音楽専門科

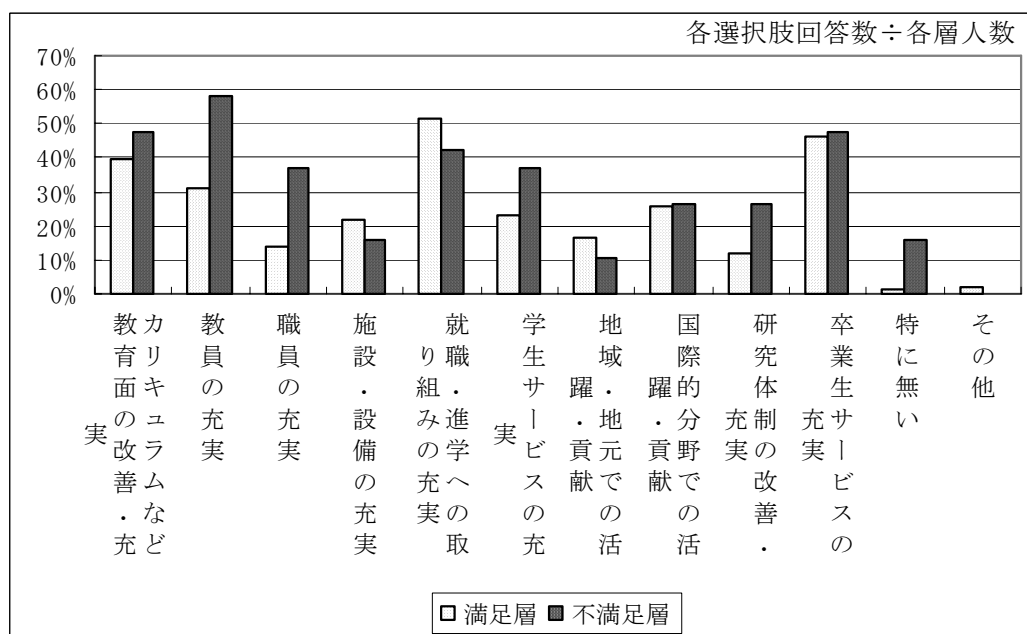
目」「音楽基礎科目」の不満足度が減少する。満足層では特に「レッスン主専攻科目」が 90%に届こうとしているが、不満足層では40%を割っている。本学は音楽単科大学であるから当然学生にとっては音楽系の科目に満足できない（有意義と思えない）ことが満足度を左右していることが分かる。

【満足度から見た本学の特色】



本学の特色（設問 22）について総合的満足度の別に見てみると「オペラハウス」を挙げた人が満足層、不満足層とも最も多く、他に比べ本学が優位であるとしている。満足層では 30%近くの人が優れているとした「教員」が不満足層では 5%程度になっていることや「カリキュラムなどの教育面」を挙げた人は不満足層にはいないことから教育面で他と比べ優位であると思えないことが大学生活全体の満足度を左右していることが改めて分かる。

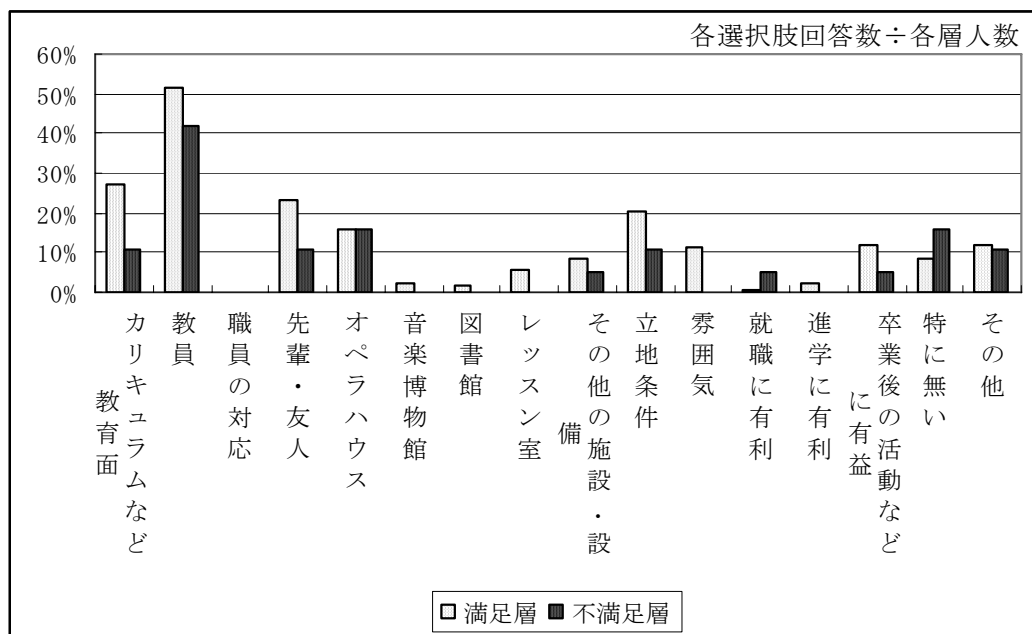
【満足度から見た今後の大阪音楽大学に期待すること】



設問 23 の「今後の大阪音楽大学に期待すること」では不満足層からの期待は多くの分野にわたるが満足層と比較すると特に目立っているのは「教員の充実」、「職員の充実」である。こ

れに対して満足層は本学の教育面については満足しているが「就職・進学への取り組み」「卒業生サービスの充実」など卒業後に必要となる支援をより一層求めていることが分かる。特に「就職・進学への取り組み」と答えた人は満足層の半数を超える。つまり在学中の学習や活動などの経験について満足している人達も就職や進学など卒業後の進路についての支援には不足を感じていたと言うことになる。

【満足度から見た選択理由】



本学の選択理由を見ると満足層、不満足層ともに「教員」が選択理由であったという人が突出して多い。設問 22 と 23 と合わせて見ると学生にとっては「教員」が大きな意味を持つ事が判る。即ち、教員は学生が満足できる教育指導を行い、学外に向かっても様々な活動を通じて知名度を上げ、さらに学外に誇れる水準を持つことが、学生にとって、本学が“良い大学”であるための必要条件と言える。

逆に「カリキュラムなど教育面」は満足層、不満足層のどちらからもあまり注目されていない。その理由の一つとしてはカリキュラムや教育システムについての広報は教員の演奏会等を通じての広報に比べて具体的でなく、また分かりにくいということが考えられるのではないか。本学に入学した学生はどのような教育を受けることができるか、さらに本学を経てどのような形で社会に出て行くのかが、そのシステムと教育内容を見ることで入学希望者に対してより具体的に示すことが出来る方法、手段についての検討が求められていると言えよう。

基礎データ集

*以下の表中「全体」では卒業年度について回答がなかったものも含む。

【設問 1】性別

設問 1 (性別)	全体*	1995 年度	2000 年度	2005 年度
男	17	4	7	6
女	235	89	79	65
合計	252	93	86	71

【設問 2】卒業時の専攻についてお答え下さい。

設問 2 (専攻)	全体*	1995 年度	2000 年度	2005 年度
作曲専攻	7	2	3	2
楽理 (音楽学) 専攻	8	4	3	1
声楽専攻	68	26	25	17
ピアノ専攻	123	44	41	37
オルガン専攻	0	0	0	0
管楽器専攻	32	10	11	10
弦楽器専攻	8	5	1	2
打楽器専攻	3	0	2	1
箏(邦楽)専攻	3	2	0	1
合計	252	93	86	71

【設問 3】大阪音楽大学の卒業年度はいつですか。

設問 3	人数
1995 年度	90
2000 年度	86
2005 年度	71
合計	247

【設問 4】入学試験はどの制度で受けられましたか。

設問 4	全体*	1995 年度	2000 年度	2005 年度
特別推薦	29	8	11	10
一般推薦	143	50	42	50
一般入試	77	35	33	9
合計	249	93	86	69

【設問 5】あなたが大阪音楽大学を選んだ理由・目的は何ですか。

設問 5	全体*	1995 年度	2000 年度	2005 年度
カリキュラムなど教育面	59	31	12	16
教員	123	37	52	32
職員の対応	0	0	0	0
先輩・友人	49	20	18	11
オペラハウス	40	15	12	13
音楽博物館	4	2	1	1
図書館	3	0	1	2
レッスン室	11	4	1	6
その他の施設・設備	20	5	4	11
立地条件	48	19	18	11
雰囲気	27	9	8	10
就職に有利	6	5	1	0
進学に有利	4	1	3	0
卒業後の活動などに有益	26	14	10	2
特に無い	23	6	7	10
その他	30	11	9	10
合計	473	179	157	135

【設問 6】入学時に大阪音楽大学以外に考えていた進路はありますか。

設問 6	全体*	1995 年度	2000 年度	2005 年度
考えなかった	112	45	41	24
大阪音楽大学短期大学部	49	20	11	18
他の音楽系大学	74	21	23	30
他の音楽系短期大学	1	0	1	0
音楽系専門学校	5	1	2	2
音楽以外の専門学校	3	1	0	2
一般大学	26	7	9	10
一般短期大学	10	5	4	1
その他	5	0	3	2
合計	285	100	94	89

【設問 7】現在どのようなお仕事、活動をされていますか。

設問 7	全体*	1995 年度	2000 年度	2005 年度
演奏活動	25	13	5	7
教育・指導	106	49	39	17
一般企業	38	10	13	15
進学	15	1	2	12
留学	5	0	3	2
ボランティア	2	1	1	0
その他	55	17	20	17
合計	246	91	83	70

【設問 8】 7で a と答えた方、演奏団体に所属していますか。

設問 8	全体*	1995 年度	2000 年度	2005 年度
団体所属	8	5	2	1
グループ所属	2	1	1	0
個人で活動	17	8	2	7
合計	27	14	5	8

【設問 9】 7で b と答えた方、どんな（どこで）教育・指導活動を行っていますか。

設問 9	全体*	1995 年度	2000 年度	2005 年度
幼稚園	5	2	2	1
小学校	6	3	1	2
中学校	14	4	7	3
高等学校	12	7	4	1
専門学校	0	0	0	0
大学・短期大学	6	2	3	1
音楽教室	32	10	13	8
ホームレッスン	62	36	19	7
その他	6	1	5	0
合計	143	65	54	23

【設問 10】 7で c と答えた方、あなたが現在就いている職種は何ですか。

設問 10	全体*	1995 年度	2000 年度	2005 年度
企画	3	0	3	0
経理・財務	1	0	0	1
広報・宣伝	4	1	3	0
総務関係	5	2	0	3
人事・教育	1	0	1	0
国際関係	0	0	0	0
営業・販売	15	6	4	5
生産管理	0	0	0	0
研究管理	0	0	0	0
情報・システム	0	0	0	0
その他	14	4	4	6
合計	43	13	15	15

【設問 11】 7でdと答えた方、どこへ進学しましたか。

設問 11	全体*	1995 年度	2000 年度	2005 年度
大阪音楽大学 音楽専攻科	7	1	0	6
大阪音楽大学大学院	4	0	1	3
他の大学院	2	0	0	2
編入学（他学）	0	0	0	0
音楽系専門学校	0	0	0	0
音楽以外の専門学校	1	0	1	0
その他	3	1	1	1
合計	17	2	3	12

【設問 12】 有意義であったと思われる科目は何ですか。

設問 12	全体*	1995 年度	2000 年度	2005 年度
レッスン・主専攻科目	201	72	68	60
音楽専門科目	135	53	45	36
一般教育科目	21	7	6	8
外国語科目	33	11	11	11
保健体育科目	6	1	1	4
音楽基礎科目	70	30	21	18
教職科目	46	16	20	10
合唱	60	19	29	11
合奏	82	24	26	30
特に無い	10	6	3	1
その他	5	0	3	2
合計	669	239	233	191

【設問 13】 現時点であなたが大阪音楽大学の学生であるとすれば学んだみたいと思う科目は何ですか。

設問 13	全体*	1995 年度	2000 年度	2005 年度
レッスン・主専攻科目	156	55	52	47
音楽専門科目	117	47	36	33
一般教育科目	25	7	8	10
外国語科目	73	20	32	21
保健体育科目	10	1	4	5
音楽基礎科目	65	30	18	17
教職科目	29	13	10	5
合唱	48	21	21	6
合奏	83	31	27	24
特に無い	6	3	3	0
その他	11	2	6	3
合計	623	230	217	171

【設問 14】 在学中にあなたが最も力を注いだ授業以外の活動は何ですか。

設問 14	全体*	1995 年度	2000 年度	2005 年度
自治会活動	4	1	1	2
サークル活動	14	5	3	5
ボランティア活動	13	7	3	3
留学準備活動	4	0	2	2
アルバイト	68	26	28	13
演奏活動	81	22	29	30
就職活動	7	1	2	4
特に無い	60	29	22	9
その他	16	7	2	7
合計	267	98	92	75

【設問 15】 学生に対する各種支援のうちあなたにとって最も有意義であったものは何ですか。

設問 15	全体*	1995 年度	2000 年度	2005 年度
学生相談	7	5	1	1
就職支援	5	0	3	2
資格取得支援	24	11	2	11
音楽活動支援	28	8	13	7
その他の学生生活支援	5	2	1	2
特に無い	175	64	61	48
その他	6	3	1	2
合計	250	93	82	73

【設問 16】 対人関係について最も有意義であったものは何ですか。

設問 16	全体*	1995 年度	2000 年度	2005 年度
先輩、友人との交流	193	66	68	58
教員との交流	72	30	25	17
職員との交流	3	0	3	0
卒業生との交流	3	1	1	1
特に無い	26	12	7	6
その他	0	0	0	0
合計	297	109	104	82

【設問 17】 在学中の授業、またはその他の活動の中で特に印象に残っているものがあればお書き下さい。

〔授業関連〕

- ✎ アンサンブル（ピアノアンサンブル、室内楽）
- ✎ カリキュラムの移行期にあたり、学内ががたついた印象があり、授業内容も不十分であったのが印象に残っている。
- ✎ レッスン（専門、副科）
- ✎ 伴奏
- ✎ 他の楽器（フルート、ヴァイオリン、箏など）

〔学生生活関連〕

- 📖 オペラの鑑賞
- 📖 恩師と巡り会えた事。
- 📖 学祭のライブ
- 📖 多くの先生方に指導して頂けたこと
- 📖 友人との交流
- 📖 箏の先生のホームレッスンに行っている人だけひいきされていた。行っていない人にはひどい。

〔演奏活動など〕

- ♪ 演奏会（作曲作品発表、Tutti オペラ、学生選抜オペラ、90 周年の演奏会、門下発表会、演奏旅行、邦楽や合唱の発表会、自主演奏会、オーディションなど）

【設問 18】 在学中にこのようなことを学ぶ機会がもっとあればさらに良かったと思われる事があればお書き下さい。

- ◇ 専攻やジャンルを越えた学習（流派を問わない、色々な楽器に触れる、古楽、ジャズ、ポピュラー、民謡、ダンスなど）
- ◇ アンサンブルの充実（オケマンのレッスン、オペラへの参加、伴奏、オケとの共演など）
- ◇ 指導法（幼児、吹奏楽、合唱、発声法、教室運営・経営方法など）
- ◇ レッスンなど専門科目の充実（レッスン時間の増加、現在活躍する演奏家によるレッスン、自由に受講出来るレッスンや合奏など）
- ◇ 多様な就職の可能性（社会との関わり、有効な資格取得、音楽の現場と触れ合うなど）
- ◇ 音楽の基礎（音楽基礎科目、音楽理論、楽曲分析など）
- ◇ 留学支援

【設問 19】 今後、機会があればさらに音楽の勉強を続けたり、音楽に関連する仕事に就いたり（あるいは変わる）することをお考えでしょうか。

設問 19	全体*	1995 年度	2000 年度	2005 年度
専門実技と関連するもの	182	59	63	59
専門実技と関連しないもの	28	15	7	6
音楽とは関連しないもの	5	2	3	0
考えていない	34	17	11	5
合計	249	93	84	70

〔具体例〕

〔指導〕

- 音楽教育分野の勉強
- 音楽教室
- 中・高の音楽科教師、又は自宅でピアノ教室
- 中学校の教諭を続ける。
- リトミック
- 小・中・高等学校の合唱
- ピアノ教室（自宅を含む）
- 自宅でピアノ指導、また、演奏活動を続ける。
- ピアノを主に教えながら声楽も教えていきたい。
- これからもリサイタルや生徒さんの演奏会の場を定期的に続けたい。
- 子供がいるので自分中心な生活はできないため、自宅で教師をする等。
- 子供達に対して音楽の楽しさを伝えていく事
- 実技以外の楽典ソルフェージュをもっと教えたい。今とりかかっている途中。

〔学習〕

- 勉強を続ける
- 留学
- 大学院への進学
- 私のいたレッスンの特色かもしれませんが、かたよったジャンル以外を学ぶ、演奏することを禁じられていたため、さまざまな音楽“ジャンル”を学生のうちに学びたいと思っていました。
- 時間とお金があれば外の世界（海外）に出て Lesson を受けてみたい。
- 子育てがある程度落ち着けば、また、自分自身の腕を磨きたい。
- 自分の技術の向上。
- オペラや歌曲ではない、歌や舞踊に興味があります（ニュージーランドのマオリの文化や、ハワイのフラ、アイルランドの民謡等）。
- ダンス
- 和太鼓、他の楽器の勉強
- 自身の演奏技術の向上、指導法。
- 日本の楽器や歴史（日本音楽）について
- 専門実技はもちろん、教室の運営、経営面についても学びたい。また音楽を通して、社会に支援できることがあれば知り、学びたい（ボランティア活動など）。
- 専門実技を生かした、ひと工夫（ひと味違った）のあるピアノ教室の運営

- 指導に関するセミナーなど
- 指導法
- ピアノ指導法や自分のピアノのレッスンを学び続けたい

〔演奏活動〕

- 声楽、又は合唱をしたい
- 声楽（オペラの方で）
- 日本著作権協会、オーケストラの楽団
- 日本民謡を勉強して師範なので、民謡をひろめるために活動したい。
- 楽器製作、執筆
- たくさんの方に喜んで頂ける舞台に立ちたいと思っています。
- できれば歌を使ってできる仕事がしたいので。
- エレクトーン（オルガン）、ピアノ演奏
- オーディションやコンクール入賞
- ピアノ専攻を卒業したが現在はジャズ&ポップスのボーカルとして活動中
- ピアノ弾き語りプロミュージシャン
- ブライダルなどの演奏者
- ソリストとの協演やレストラン、ブライダルでの仕事
- 演奏活動
- 楽器は吹きつづけていたい。
- 経済的負担の少ない演奏活動と現行の音楽指導
- 調律師になりたい。

〔その他〕

- 音楽療法
- 看護師
- 科学分析、薬品分析などの分析
- 学んだことを生かしたいがチャンスがない。
- 結局、社会に出ればクラシックの世界が“趣味”の域になりがちだ。趣味で知っている方々のサポート的や、知らない事を少し教える程度でしかなかかなか自分を発揮できない。
- 語学を学ぶ時間がとれれば勉強したい。

【設問 20】 19 で選んだものについて大阪音楽大学に希望することはありますか。

設問 20	全体*	1995 年度	2000 年度	2005 年度
教育に関する研修や講習	71	28	28	14
演奏に関する研修や講習	110	34	38	38
就職に関する研修や講習	38	9	17	12
進学に関する研修や講習	12	2	3	7
特に無い	40	15	16	9
その他	7	4	1	2
合計	278	92	103	82

【設問 21】 大学での経験などで、あなたの現在の仕事（活動）に役立っているものは何ですか。

設問 21	全体*	1995 年度	2000 年度	2005 年度
大阪音楽大学出身であること	82	38	28	14
大学で得た専門知識・技術	152	56	49	45
大学で得た専門以外の知識や教養	42	16	14	12
大学での教員や職員との交流	56	20	16	19
大学で得た友人や人脈	110	40	36	33
大学で培われた広い視野や柔軟性	52	16	16	20
特に無い	28	11	8	9
その他	4	1	0	3
合計	526	198	167	155

【設問 22】 現在の大阪音楽大学はどの点で優れていると思いますか。

設問 22	全体*	1995 年度	2000 年度	2005 年度
カリキュラムなど教育面	37	18	11	8
教員	59	19	19	21
職員の対応	5	0	3	2
先輩・友人	25	7	6	12
オペラハウス	164	61	59	43
音楽博物館	44	16	16	12
図書館	36	9	9	18
レッスン室	80	13	36	30
その他の施設・設備	37	11	11	15
立地条件	27	10	11	6
雰囲気	11	4	2	5
就職に有利	20	7	8	5
進学に有利	1	1	0	0
卒業後の活動などに有益	6	3	3	0
特に無い	16	9	4	3
その他	0	0	0	0
合計	568	188	198	180

【設問 23】 卒業生としてあなたが今後の大阪音楽大学に期待することは何ですか。

設問 23	全体*	1995 年度	2000 年度	2005 年度
カリキュラムなど教育面の改善・充実	106	44	32	28
教員の充実	86	32	31	22
職員の充実	38	11	6	21
施設・設備の充実	48	13	16	19
就職・進学への取り組みの充実	122	34	43	44
学生サービスの充実	61	10	18	32
地域・地元での活躍・貢献	37	14	12	11
国際的分野での活躍・貢献	61	20	22	19
研究体制の改善・充実	30	12	9	8
卒業生サービスの充実	111	32	44	34
特に無い	8	5	1	2
その他	4	1	1	2
合計	712	228	235	242

【設問 24】 大阪音楽大学に在学したことに対して総合的に満足していますか。

設問 24	全体*	1995 年度	2000 年度	2005 年度
強くそう思う	46	19	15	12
そう思う	153	52	55	45
どちらともいえない	30	12	10	7
そうは思わない	11	5	3	3
強くそうは思わない	8	3	3	2
合計	248	91	86	69

総 括

今回のアンケートによる本学卒業生の総合的満足度は決して低いものではなく、むしろ5段階評価の平均で3.87と高い評価を得た。

このアンケートは、学習や学生生活、学生サービス、施設・設備などについて、入学前、在学中、卒業後それぞれの印象を調査し、それらを基に総合的な評価の要因を探ることを意図したものであるから、まず、このアンケート結果から見えてきた本学卒業生の代表的モデルとしての学生像を挙げ、そこから問題点を見出すこととした。

本学の代表的な学生像（卒業生像）

・・・受験前には

本学に在学する（本学において大学生生活を送る）という希望だけでなく、本学の教員の指導を受けることも大きな目的としている。

・・・在学中は

オペラハウスやレッスン室など恵まれた環境の中で、自身の専門科目を中心に充実した学習を行えることに満足している。しかし一方では一般教養的な学習やサークル活動等の学生生活には意義や必要性を強く感じていない。また、学生生活を支援する大学からのサービスについては十分に満足しているとは言えない。

・・・卒業後は

充実した学生生活を送ったと感じているが、卒業後の活動に対して在学中からの示唆や支援が少なかったと考え、それらが通常のカリキュラムに組み込まれておれば良かったと考えている。さらにこれらの部分についての不足を補う意味も含めて、卒業後も継続する支援体制を望んでいる。

つまり本学の学生は、端的に言うと、とにかく音楽が好きで、4年間の学生生活が音楽の世界に浸っておれるという環境に満足しているが、高等教育機関としての大学に在学しているという認識が十分にあるとは言い難い。いささか乱暴ではあるが、子供の頃からひたすら励んできた“練習”を続けている（または続けられる）という状況に満足しているのみとも言える。これは2年制大学や専門学校への進学も合わせて考えていた層（少しでも長い期間その環境に身を置くことが出来る状況に満足した層）の満足度が高いこと、その反面音楽以外の大学や専門学校を考えていた層（音楽以外の可能性も持っていた層）の満足度が低いことからわかる。大学が大学であるゆえんを理解し、社会に出るための最終的なステップであるとの自覚は強くないと思われる。これが卒業後、そのことについて大学が気付かせてくれなかったとの不満につながるのではないか。

本学に求められるもの

本学がさらに充実した大学となるためには最も注目される教育についてさらに個々の教員が努力することはもちろん、社会に対しても発信、発表することでさらに知名度を上げていくことが大切である。受験前にはあまり関心を集められていない教育システムやカリキュラムなどに魅力的なものを用意することはもちろんこれらを積極的に広報し、大学とは何をどう学び、どのように将来につながるのかを示さなければならない。

そのカリキュラムは、いわゆる優れたプロ音楽家教育や、就職に結びつくのみならず、社会で活動していける、生きて行く基となるような何かを大学として提案するようなものでなければならない。

専門教育の充実は勿論だが、その専門教育を通じて幅広い知識や考察力の必要性を訴え、学生の自覚を促すことが不可欠と思われる。つまり、専門における技術が高い、耳がよい、声がきれいなどによってのみ評価する教育でなく、様々な分野において活躍する場を見出すための礎となるような教育が求められる。これには一般教育や外国語等の授業を充実させるといったことに加えて、専門教育の中でこそ筋道を立てて物事を考える（例えば演奏する曲について問題点、疑問点を発見し、様々な手段、媒体を通して情報を集め、それらを取捨選択し、集約したものを、咀嚼し、あらためて固有の解釈として第三者に正確に伝えることができるように構築する能力）などを早い段階から求めて行くような姿勢を教員が持つ事などが必要であろう。そうした能力の開発のために各分野の教員がその専門分野を活かし適切な助言や指導を行うなどの総合的な教育、教員相互のタイアップが必要であると考えられる。

自己点検・評価統括委員会

7でb. と答えた方

9. どんな（どこで）教育・指導活動を行っていますか。

- ①幼稚園 ②小学校 ③中学校 ④高等学校
⑤専門学校 ⑥大学・短期大学 ⑦音楽教室 ⑧ホームレッスン
⑨その他()

7でc. と答えた方

10. あなたが現在就いている職種は何ですか。

- ①企画 ②経理・財務 ③広報・宣伝 ④総務関係
⑤人事・教育 ⑥国際関係 ⑦営業・販売 ⑧生産管理
⑨研究管理 ⑩情報・システム ⑪その他()

7でd. と答えた方

11. どこへ進学しましたか

- ①大阪音楽大学 音楽専攻科 ②大阪音楽大学大学院 ③他の大学院
④編入学(他学) ⑤音楽系専門学校 ⑥音楽以外の専門学校
⑦その他()

D) 大阪音楽大学での経験についてお答え下さい。

12. 有意義であったと思われる科目は何ですか。(当てはまるものすべてを選んで下さい。)

- a. レッスン・主専攻科目 b. 音楽専門科目 c. 一般教育科目
d. 外国語科目 e. 保健体育科目 f. 音楽基礎科目
g. 教職科目 h. 合唱 i. 合奏
j. 特に無い k. その他()

よろしければ12で選んだものについて具体的な科目名をお答え下さい。

()

13. 現時点であなたが大阪音楽大学の学生であるとすれば学んでみたいと思う科目は何ですか。

(当てはまるものすべてを選んで下さい。)

- a. レッスン・主専攻科目 b. 音楽専門科目 c. 一般教育科目
d. 外国語科目 e. 保健体育科目 f. 音楽基礎科目
g. 教職科目 h. 合唱 i. 合奏
j. 特に無い k. その他()

よろしければ13で選んだものについて具体的な科目名をお答え下さい。

()

14. 在学中にあなたが最も力を注いだ授業以外の活動は何ですか。

- a. 自治会活動 b. サークル活動 c. ボランティア活動
d. 留学準備活動 e. アルバイト f. 演奏活動
g. 就職活動 h. 特に無い i. その他()

15. 学生に対する各種支援のうちあなたにとって最も有意義であったものは何ですか。

- a. 学生相談 b. 就職支援 c. 資格取得支援
d. 音楽活動支援 e. その他の学生生活支援 f. 特に無い
g. その他()

16. 対人関係について最も有意義であったものは何ですか。

- a. 先輩、友人との交流 b. 教員との交流 c. 職員との交流
d. 卒業生との交流 e. 特に無い f. その他()

17. 在学中の授業、またはその他の活動の中で特に印象に残っているものがあればお書き下さい。
()

18. 在学中にこのようなことを学ぶ機会がもっとあればさらに良かったと思われることがあればお書き下さい。
()

19. 今後、機会があればさらに音楽の勉強を続けたり、音楽に関連する仕事に就いたり（あるいは変わる）することをお考えでしょうか。

- a. 専門実技と関連するもの b. 専門実技と関連しないもの c. 音楽とは関連しないもの
d. 考えていない よろしければ具体的にお答え下さい。()

20. 19 で選んだものについて大阪音楽大学に希望することはありますか。

- a. 教育に関する研修や講習 b. 演奏に関する研修や講習 c. 就職に関する研修や講習
d. 進学に関する研修や講習 e. 特に無い f. その他()

21. 大学での経験などで、あなたの現在の仕事（活動）に役立っているものは何ですか。（当てはまるものすべてを選んで下さい）

- a. 大阪音楽大学出身であること b. 大学で得た専門知識・技術
c. 大学で得た専門以外の知識や教養 d. 大学での教員や職員との交流
e. 大学で得た友人や人脈 f. 大学で培われた広い視野や柔軟性
g. 特に無い h. その他()

E) 大阪音楽大学について全般的にお答え下さい。

22. 現在の大阪音楽大学はどの点で優れていると思いますか。（当てはまるものすべてを選んで下さい）

- a. カリキュラムなど教育面 b. 教員 c. 職員の対応
d. 先輩・友人 e. オペラハウス f. 音楽博物館
g. 図書館 h. レッスン室 i. その他の施設・設備
j. 立地条件 k. 雰囲気 l. 就職に有利
m. 進学に有利 n. 卒業後の活動などに有益 o. 特に無い
p. その他()

23. 卒業生としてあなたが今後の大阪音楽大学に期待することは何ですか。（当てはまるものすべてを選んで下さい）

- a. カリキュラムなど教育面の改善・充実 b. 教員の充実
c. 職員の充実 d. 施設・設備の充実
e. 就職・進学への取り組みの充実 f. 学生サービスの充実
g. 地域・地元での活躍・貢献 h. 国際的分野での活躍・貢献
i. 研究体制の改善・充実 j. 卒業生サービスの充実
k. 特に無い l. その他()

24. 大阪音楽大学に在学したことに対して総合的に満足していますか。

- a. 強くそう思う
- b. そう思う
- c. どちらともいえない
- d. そうは思わない
- e. 強くそうは思わない

25. 大阪音楽大学に対してご意見やメッセージなどございましたら下記へ自由にお書き下さい。

ご協力ありがとうございました。